

平成 28 年度 事業報告

社会福祉法人がやの実社



イラスト

吉沢 京子

社会福祉法人かやの実社

平成 28 年度事業報告

はじめに

近年、保育会では大きな変革が続いているが、28年度は社会福祉法人にとって最大の変革の年であった。当法人では、社会福祉法の改正に伴い、定款の改定、評議員選定委員会の設置、評議員の選定、定款の改定を行い、平成29年度に向けた体制を構築した。保育園では、28年度は「子ども・子育て新システム(公定価格)」に伴い、東京都ではサービス推進費の見直し、各自治体では、子育て推進交付金の運用、ならびに単独助成の運用等の再構築がおこなわれた。なお、公定価格では、羽村市は従来0%加算地域であったが、27年度より10%加算地域に改められたことにより委託費収入が改善され、大幅な収入増となった。これにより、さくら保育園の施設整備にかかる資金計画、自己資金の状況、借入金の返済計画等の設定が楽になり、拠点区分間の資金の流用が不要となり、かつ33歳以上の職員の昇級昇格財源としても活用できるなど、経営の安定性が向上した。

また、都市部の待機児童が解消されない原因として保育士不足が指摘され、保育士給与の改善加算が引き続き行われたが、32歳が民改費上限であり、それ以降の昇級、昇格財源が確保されないというもっとも重要な問題は放置されたままであった。本来、保育士給与の改善は、民改率の上限撤廃と公定価格の改善、あるいは保育職俸給表の制定で行われるべきである。

その他、宿舍借り上げ補助制度が導入されたが、実施の可否や金額、対象等が自治体にまかされ、羽村市においては未だ同制度が導入されないなど、自治体間の格差拡大に繋がった。

羽村市では、当法人を含め、社会福祉法改正、法人制度改革に伴う定款改正作業を行ったが、上述のように羽村市では宿舍借り上げ補助への取り組みはなされなかったため、取り組みを行っている地域へ保育士が流出するという事態が生じている。なお、羽村市の公立保育園民営化は今年度をもって完了した。

本法人では、26、27、28年の3カ年事業として実施したさくら保育園の施設整備が今年度をもって完了した。なお、保育は事業の完了を待たず28年度当初より新園舎でスタートした。また、本法人においても定款の改正、評議員選任・解任委員会の設置、評議員会の設置を行った。

1. 保育をとりまく状況

1. 国の動き

1 子ども子育て支援制度の状況

『子ども・子育て支援新制度』とは、平成24年8月に成立した「子ども・子育て支援法」、
「認定こども園法の一部改正」、「子ども・子育て支援法および認定こども園法の一部改正法
の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」の子ども・子育て関連3法に基づく制度の
ことをいい、27年度に施行された。

1 認定こども園，幼稚園，保育所を通じた共通の給付（「施設型給付」）および小規模保育等への給付（「地域型保育給付」）の創設

・地域型保育給付は、都市部における待機児童解消とともに、子どもの数が減少傾向にある地域における保育機能の確保に対応する。

2 認定こども園制度の改善（幼保連携型認定こども園の改善等）

・幼保連携型認定こども園について、認可・指導監督を一本化し、学校および児童福祉施設としての法的に位置づける。
・認定こども園の財政措置を「施設型給付」に一本化する。

3 地域の実情に応じた子ども・子育て支援（利用者支援、地域子育て支援拠点、放課後児童クラブなどの「地域子ども・子育て支援事業」）の充実

・教育・保育施設を利用する子どもの家庭だけでなく、在宅の子育て家庭を含むすべての家庭及び子どもを対象とする事業として、市町村が地域の実情に応じて実施する。

4 基礎自治体（市町村）が実施主体

・市町村は地域のニーズに基づき計画を策定、給付・事業を実施す、。
・国・都道府県は実施主体の市町村を重層的に支える。

5 社会全体による費用負担

・消費税率の引き上げによる、国および地方の恒久財源の確保を前提とする。

6 政府の推進体制

・制度ごとにバラバラな政府の推進体制を整備（内閣府に子ども・子育て本部を設置）した。

7 子ども・子育て会議の設置

・有識者、地方公共団体、事業主代表・労働者代表、子育て当事者、子育て支援当事者等（子ども・子育て支援に関する事業に従事する者）が、子育て支援の政策プロセスなどに参画・関与することができる仕組みとして、国に子ども・子育て会議を設置した。

・市町村等の合議制機関（地方版子ども・子育て会議）の設置努力義務とする。

子ども・子育て支援新制度関連基礎データ

保育所・幼稚園・認定こども園の箇所数、利用状況

| 施行名 | | 箇所数等 | 利用状況 | 備考 |
|---------------------|-------|----------|--------|-----------------------------------------------|
| 保育所 | | 23,447箇所 | 約214万人 | 平成28年4月1日現在 |
| 幼稚園 | | 11,252箇所 | 約134万人 | 平成28年5月1日現在 （出典「学校基本統計」） ※幼稚園型認定こども園を含む |
| 認定こども園 （計4,001件） | 幼保連携型 | 2,785件 | 約40万人 | 平成28年4月1日現在 |
| | 幼稚園型 | 682件 | 約10万人 | |
| | 保育所型 | 474件 | 約5万人 | |
| | 地方裁量型 | 60件 | 約4千人 | |

地域型保育事業の認可件数について

| 事業 | 件数（※1） | 備考 |
|-------------|---------|-------------|
| 家庭的保育事業 | 958 | 平成28年4月1日現在 |
| 小規模保育事業（※2） | 2,429 | |
| (A型) | (1,711) | |
| | (595) | |
| | (123) | |
| 居宅訪問型保育事業 | 9 | |
| 事業所内保育事業 | 323 | |

1 社会福祉法人改革

福祉サービスの供給体制の整備および充実を図るため、社会福祉法人制度について経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等の改革を進めるとともに、介護人材の確保を推進するための措置、社会福祉施設職員等退職手当共済制度の見直しの措置を講ずる。公益性・非営利性を確保する観点から制度を見直し、国民に対する説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人の在り方を徹底する。

1 経営組織のガバナンスの強化

- ・議決機関としての評議員会を必置(小規模法人について評議員定数の経過措置)、一定規模以上の法人への会計監査人の導入等。

2 事業運営の透明性の向上

- ・財務諸表・現況報告書・役員報酬基準等の公表に係る規定の整備等。

3 財務規律の強化(適正かつ公正な支出管理・いわゆる内部留保の明確化・社会福祉充実残額の社会福祉事業等への計画的な再投資)

- ・役員報酬基準の作成と公表、役員等関係者への特別の利益供与の禁止等。
- ・「社会福祉充実残額(再投下財産額)」(純資産の額から事業の継続に必要な財産額(※)を控除等した額)の明確化。

※①事業に活用する土地、建物等、②建物の建替、修繕に要する資金、③必要な運転資金、④基本金および国庫補助等特別積立金。

- ・「社会福祉充実残額」を保有する法人に対して、社会福祉事業又は公益事業の新規実施・拡充に係る計画の作成を義務付け等。

4 地域における公益的な取組を実施する責務

- ・社会福祉事業および公益事業を行うに当たって、無料または低額な料金で福祉サービスを提供することを責務として規定。

5 行政の関与の在り方

- ・所轄庁による指導監督の機能強化、国・都道府県・市の連携等。

社会福祉法人制度の改革（主な内容）

○ 公益性・非営利性を確保する観点から制度を見直し、国民に対する説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人の在り方を徹底する。

| | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1. 経営組織のガバナンスの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 理事・理事長に対する牽制機能の発揮 □ 財務会計に係るチェック体制の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 議決機関としての評議員会を必置 ※理事等の選任・解任や役員報酬の決定など重要事項を決議（注）小規模法人について評議員定数に係る経過措置を設ける。 ○ 役員・理事会・評議員会の権限・責任に係る規定の整備 ○ 親族等特殊関係者の理事等への選任の制限に係る規定の整備 ○ 一定規模以上の法人への会計監査人の導入 等 |
| <p>2. 事業運営の透明性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 財務諸表の公表等について法律上明記 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 閲覧対象書類の拡大と閲覧請求者の国民一般への拡大 ○ 財務諸表、現況報告書（役員報酬総額、役員等関係者との取引内容を含む。）、役員報酬基準の公表に係る規定の整備 等 |
| <p>3. 財務規律の強化</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 適正かつ公正な支出管理の確保 ② いわゆる内部留保の明確化 ③ 社会福祉事業等への計画的な再投資 | <ol style="list-style-type: none"> ① 役員報酬基準の作成と公表、役員等関係者への特別の利益供与を禁止 等 ② 純資産から事業継続に必要な財産（※）の額を控除し、福祉サービスに再投下可能な財産額（「社会福祉充実残額」）を明確化 ※①事業に活用する土地、建物等 ②建物の建替、修繕に必要な資金 ③必要な運転資金 ④基本金、国庫補助等特別積立金 ③ 再投下可能な財産額がある社会福祉法人に対して、社会福祉事業又は公益事業の新規実施・拡充に係る計画の作成を義務づけ（①社会福祉事業、②地域公益事業、③その他公益事業の順に検討） 等 |
| <p>4. 地域における公益的な取組を実施する責務</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 社会福祉法人の本旨に従い他の主体では困難な福祉ニーズへの対応を求める | <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会福祉事業又は公益事業を行うに当たり、日常生活又は社会生活上支援を要する者に対する無料又は低額の料金を福祉サービスを提供することを責務として規定 ※利用者負担の軽減、無料又は低額による高齢者の生活支援等 |
| <p>5. 行政の関与の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 所轄庁による指導監督の機能強化 □ 国・都道府県・市の連携を推進 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 都道府県の役割として、市による指導監督の支援を位置づけ ○ 経営改善や法令遵守について、柔軟に指導監督する仕組み（勧告等）に関する規定を整備 ○ 都道府県による財務諸表等の収集・分析・活用、国による全国的なデータベースの整備 等 |

1. 経営組織の在り方について

○ 社会福祉法人について、一般財団法人・公益財団法人と同等以上の公益性を担保できる経営組織とする。

| <改正前> | <改正後> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>理事 理事長 理事会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 理事会による理事・理事長に対する牽制機能が制度化されていない。 ● 理事、理事長の役割、権限の範囲が明確でない。 （注）理事会、理事長は通知に規定が置かれている。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 理事会を業務執行に関する意思決定機関として位置付け、理事・理事長に対する牽制機能を働かせる。 ● 理事等の義務と責任を法律上規定。 |
| <p>評議員 評議員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 評議員会は、任意設置の諮問機関であり、理事・理事長に対する牽制機能が不十分。 （審議事項） ・定款の変更 ・理事・監事の選任 等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 評議員会を法人運営の基本ルール・体制の決定と事後的な監督を行う機関として位置付け、必置の議決機関とする。 ※小規模法人について評議員定数の経過措置 （決議事項） ・定款の変更 ・理事・監事・会計監査人の選任、解任 ・理事・監事の報酬の決定 等 |
| <p>監事</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 監事の理事・使用人に対する事業報告の要求や財産の調査権限、理事会に対する報告義務等が定められていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 監事の権限、義務（理事会への出席義務、報告義務等）、責任を法律上規定。 |
| <p>会計 監査人</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 資産額100億円以上若しくは負債額50億円以上又は収支決算額10億円以上の法人は2年に1回、その他の法人は5年に1回の外部監査が望ましいとしている（通知）。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 一定規模以上の法人への会計監査人による監査の義務付け（法律）。 |

2. 運営の透明性の確保について

- 社会福祉法人の高い公益性に照らし、公益財団法人以上の運営の透明性を確保することとし、以下の事項を法令上明記。
 - ・ 定款、事業計画書、役員報酬基準を新たに関覧対象とすること
 - ・ 閲覧請求者を利害関係人から国民一般にすること
 - ・ 定款、貸借対照表、収支計算書、役員報酬基準を公表対象とすること
- 既に通知により公表を義務付けている現況報告書(役員名簿、補助金、社会貢献活動に係る支出額、役員の親族等との取引内容を含む。)について、規制改革実施計画を踏まえ、役員区分ごとの報酬総額を追加した上で、閲覧・公表対象とすることを法令上明記。
- 国民が情報入手しやすいホームページを活用して公表。

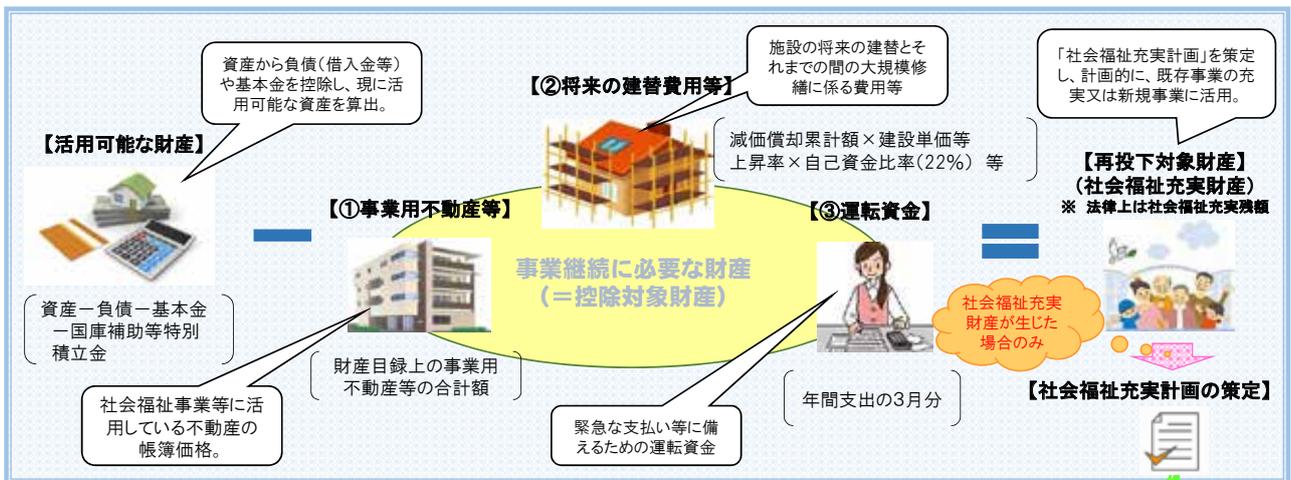
| | 改正前 | | 改正後 | | 公益財団法人 | | 規制改革実施計画 |
|-----------------------------------------------|--------|-----------|----------|----------|--------|-------|---------------|
| | 備置き・閲覧 | 公表 | 備置き・閲覧 | 公表 | 備置き・閲覧 | 公告・公表 | 公表 |
| 事業報告書 | ○ | — | ○ | — | ○ | — | — |
| 財産目録 | ○ | — | ○ | — | ○ | — | — |
| 貸借対照表 | ○ | ○ (通知) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ (通知で措置済) |
| 収支計算書(事業活動計算書・資金収支計算書) | ○ | ○ (通知) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ (通知で措置済) |
| 監事の意見を記載した書類 | ○ | — | ○ | — | ○ | — | — |
| 現況報告書(役員名簿、補助金、社会貢献活動に係る支出額、役員の親族等との取引状況を含む。) | — | ○ (通知) | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| 役員区分ごとの報酬総額 | — | — | ○ (※) | ○ (※) | ○ | — | ○ |
| 定款 | — | — | ○ | ○ | ○ | — | — |
| 役員報酬基準 | — | — | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| 事業計画書 | — | — | ○ | — | ○ | — | — |

(※)現況報告書に記載

4

3. 社会福祉法人の財務規律について

- 社会福祉法人が保有する財産については、事業継続に必要な財産(控除対象財産)を控除した上で、再投下対象財産(社会福祉充実財産)を明確化する。
- 社会福祉充実財産が生じる場合には、法人が策定する社会福祉充実計画に基づき、既存事業の充実や新たな取組に有効活用する仕組みを構築する。



(社会福祉充実財産の用途は、以下の順に検討の上、法人が策定する社会福祉充実計画に基づき、既存事業の充実や新たな事業に再投資)



5

4. 「地域における公益的な取組」について

○ 平成28年改正社会福祉法において、社会福祉法人の公益性・非営利性を踏まえ、法人の本旨から導かれる本来の役割を明確化するため、「地域における公益的な取組」の実施に関する責務規定が創設された。

(参考)社会福祉法(昭和26年法律第45号)(抄)
第24条 (略)

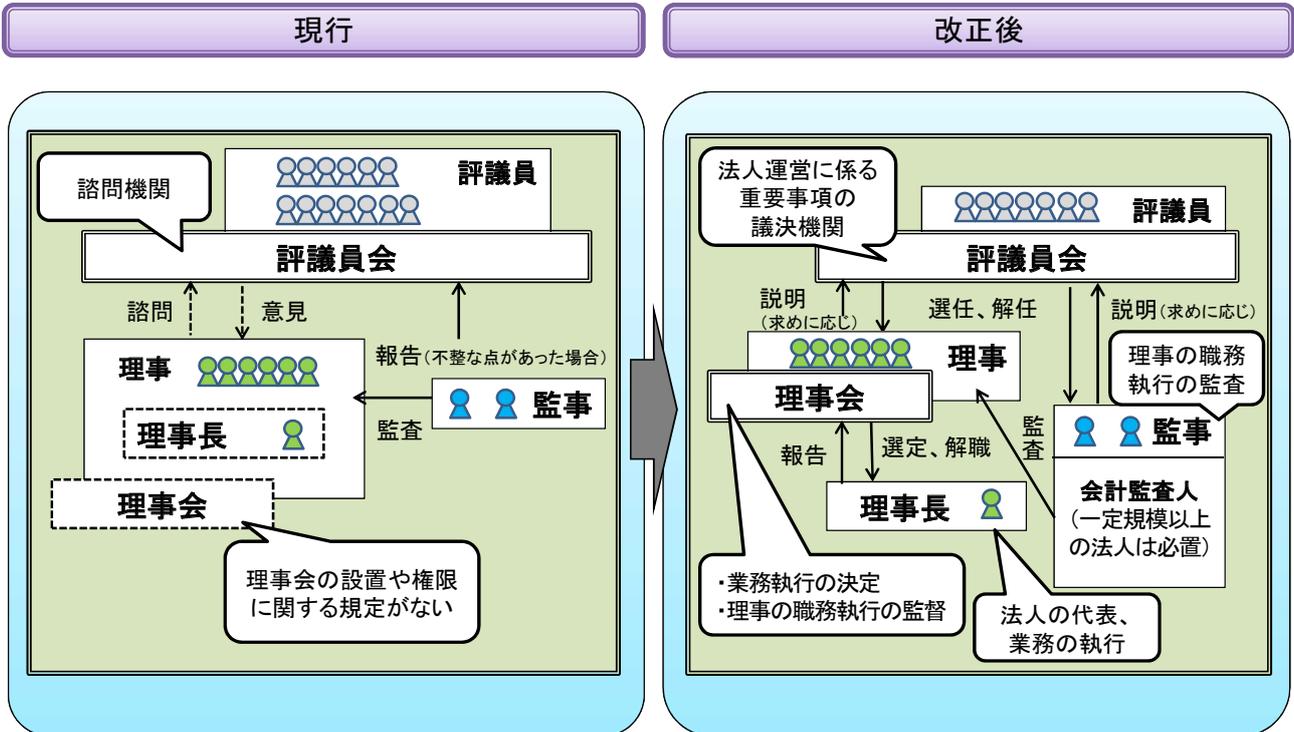
2 社会福祉法人は、社会福祉事業及び第二十六条第一項に規定する公益事業を行うに当たっては、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金を、福祉サービスを積極的に提供するよう努めなければならない。



○ **社会福祉法人の地域社会への貢献**
⇒ **各法人が創意工夫をこらした多様な「地域における公益的な取組」を推進**

地域において、少子高齢化・人口減少などを踏まえた福祉ニーズに対応するサービスが充実

社会福祉法人の経営組織のガバナンス強化について



評議員・評議員会の改正のポイント

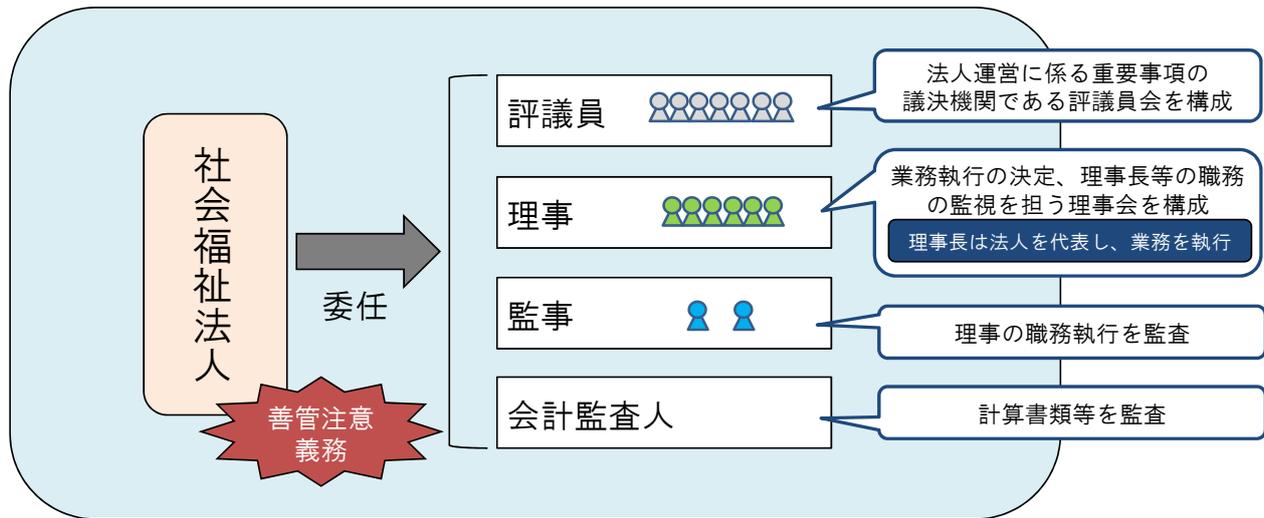
| | | (現行) | (改正後) |
|------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 評議員会 | 位置付け | 諮問機関(原則) | 法人運営に係る重要事項の議決機関 ・役員の選任、解任 等 |
| | 設置義務 | 任意設置 ※ 通知において、保育所等のみを営 する法人以外には、設置を求めている。 | <u>必置</u> |
| 評議員 | 資格 | 社会福祉事業に関心を持ち、 又は学識経験のある者で、当 該法人の趣旨に賛成して協力 する者 ※ 地域の代表者を加えるとともに、利用 者家族を加えることが望ましい。 | 社会福祉法人の適正な運営に必要な識見を 有する者 ※ 法人において、上記の者として適正な手続により選任さ れるものであれば、特段の制限はない。 |
| | 員数 | 13名以上 (理事の定数(6名以上)の2倍 を超える数) | <u>7名以上</u> (理事の員数(6名以上)を超える数) ※ 経過措置の対象法人は、3年間4名以上(平成27年度収 益が4億円以下の法人) |
| | 理事との兼務 | <u>可能</u> | <u>不可</u> |
| | 親族等特殊関 係者の制限 | 各評議員について、特殊関係 に当たる者を一定数に制限 (理事と同様) | 各評議員・各役員について、特殊関係に当 たる者は評議員にはなれない。 ※ 他の同一法人の制限については、社会福祉法人を対象 外とするとともに、それ以外の法人は1/3の上限を設ける。 |
| | 選任方法 | <u>理事会の同意を得て、理事長 が委嘱</u> | <u>定款で定める方法(例:評議員選任・解任委 員会)によって選任</u> ※ 理事が評議員を選任・解任する旨の定めは法律上認めら れない。 |

評議員会・理事会について

| | 理事会 (必置) | 評議員会 (必置) |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 位置付け | 業務執行の決定機関 ○以下の職務を行う。(法第45条の13第2項) ・社会福祉法人の業務執行の決定 ・理事の職務の執行の監督 ・理事長の選定及び解職 | 運営に係る重要事項の議決機関 ○社会福祉法に規定する事項及び定款で定めた 事項に限り、決議することができる。(法第 45条の8第2項) |
| 決議事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定 ・理事長及び業務執行理事の選定及び解職 ・重要な財産の処分及び譲受け ・多額の借財 ・重要な役割を担う職員の選任及び解任 ・従たる事務所その他の重要な組織の設置、変更及び廃止 ・コンプライアンス(法令遵守等)の体制の整備 ※一定規模を超える法人のみ ・競業及び利益相反取引 ・計算書類及び事業報告等の承認 ・理事会による役員、会計監査人の責任の一部免除 ・その他の重要な業務執行の決定 | <ul style="list-style-type: none"> ・理事、監事、会計監査人の選任 ・理事、監事、会計監査人の解任★ ・理事、監事の報酬等の決議 ・理事等の責任の免除(全ての免除(※総評議員の同意が必要)、一部の免除)★ ・役員報酬等基準の承認 ・計算書類の承認 ・定款の変更★ ・解散の決議★ ・合併の承認(吸収合併消滅法人、吸収合併存続法人、法人新設合併)★ ・社会福祉充実計画の承認 ・その他定款で定めた事項 <p>★: 法第45条の9第7項の規定により、議決に加わることができる評議員※の三分の二(これを上回る割合を定款で定めた場合にあっては、その割合)以上に当たる多数をもって決議を行わなければならない事項 ※ 出席者数ではなく、評議員の全体の数が基準となる。</p> |

理事、監事、会計監査人、評議員と法人との関係

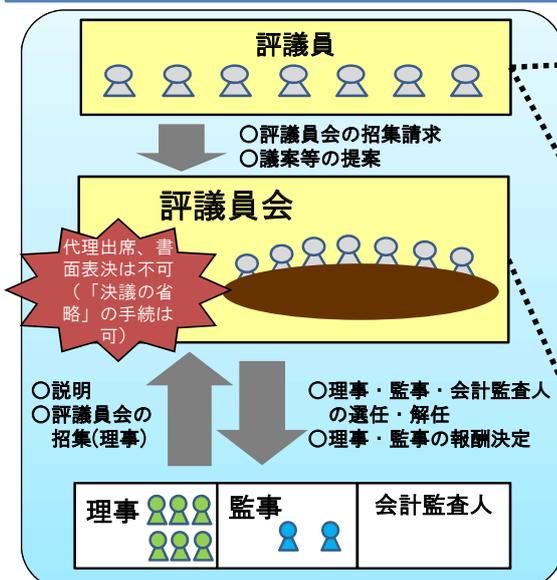
- 法人とその理事、監事、会計監査人及び評議員は、委任の関係にある。
- 民法の規定により、委任を受けた者（受任者＝理事・監事・会計監査人・評議員）は、「善良な管理者の注意をもって、委任事務を処理する義務」（＝善管注意義務）を負う。
- このため、理事、監事、会計監査人及び評議員は、常勤・非常勤、報酬の有無にかかわらず、その職責に応じた注意義務をもって職務に当たることが求められる。



11

評議員・評議員会

- 評議員会は、これまでの諮問機関とは異なり、法人運営の基本ルール・体制を決定するとともに、役員の選任・解任等を通じ、事後的に法人運営を監督する機関として位置付けられることとなる。
- 従来の評議員会に対し諮問されていた業務執行に関する事項についての意思決定は理事会で行うこととなり、評議員会の決議事項は法に規定する事項及び定款で定めた事項に限定される（法第45条の8第2項）。
- なお、法律において評議員会の決議を必要としている事項について、理事、理事会その他の評議員会以外の機関が決定することができることを内容とする定款の定めは、効力を有しない（同条第3項）。



【評議員の選任・解任】

- ・ 定款で定める方法による。ただし、理事・理事会が評議員を選任・解任する旨の定款の定めは無効

【評議員の権限（主なもの）】

- ・ 評議員会の理事に対する招集請求（理事が遅滞なく招集手続を行わない等の場合は、所轄庁の許可を得て自ら招集できる。）
- ・ 議題提案権（議題提案権の行使は、評議員会の4週間前まで）
- ・ 議案提案権（評議員会の場で、議題の範囲内で議案の提案が可能）

【評議員の義務】

- ・ 善管注意義務

【評議員の責任】

- ・ 損害賠償責任、特別背任罪等

【評議員会の権限（主なもの）】

- ・ 理事、監事、会計監査人の選任・解任
- ・ 定款の変更、計算書類の承認、社会福祉充実計画の承認、合併の承認、役員の報酬の決定等
- ※ 監事の解任、定款の変更、合併の承認については2/3の多数による決議が必要
- ※ 報酬の決定は、定款に額が定められていないときに限る。

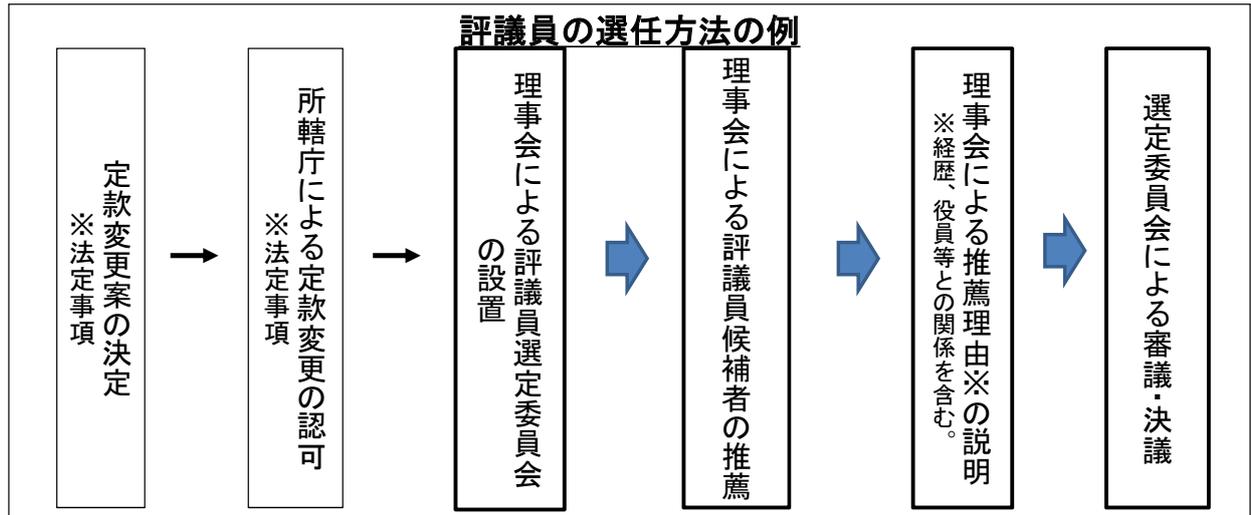
15

評議員の選任方法（運用）

○ 法人の理念や経営状況を理解した上で中立的な立場から審議できる者を評議員として選任することが重要。こうした視点に立った評議員の選任が可能となる運用とする。

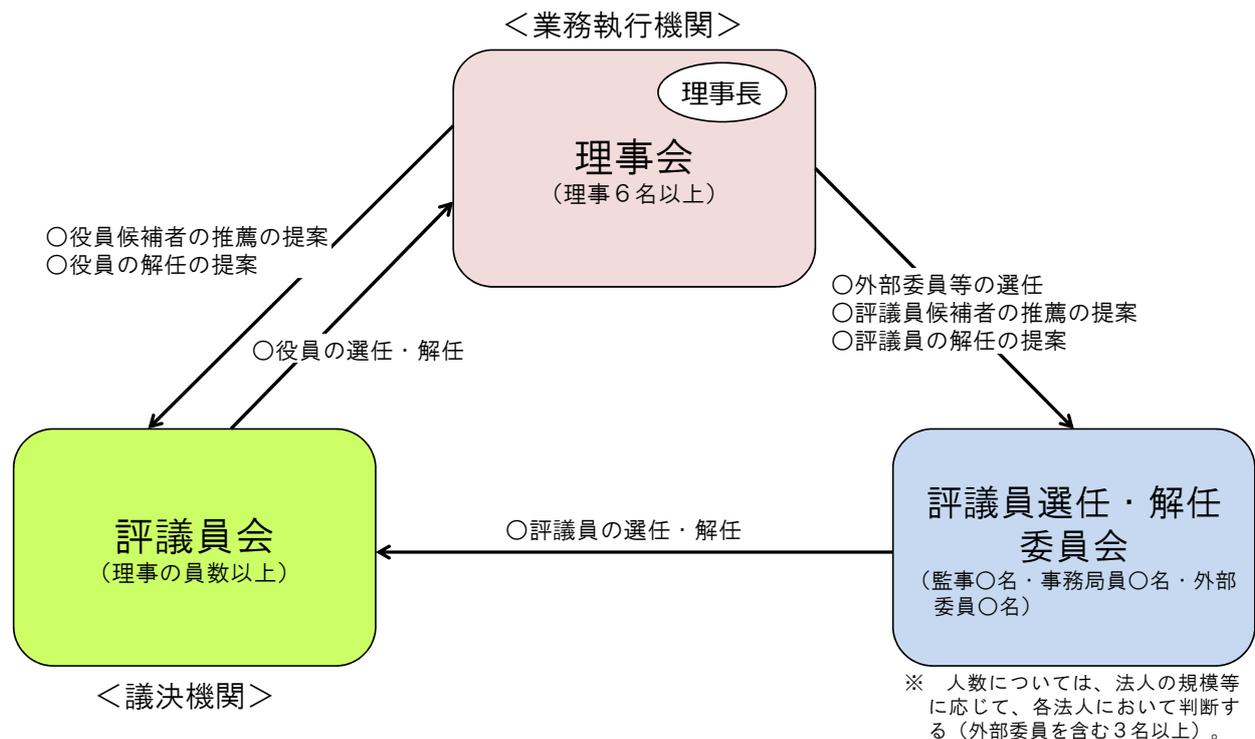
※ 法律上、評議員の選任方法は定款に定め、所轄庁の認可が必要とされている（一般財団法人・公益財団法人と同じ）。理事が評議員等を選任・解任する旨の定めは法律上認められていないが、それ以外は基本的に社会福祉法人が定めた方式で評議員を選任できる。

・ 一般財団法人・公益財団法人の運用では、評議員は、中立的な選定委員会等の方法により選任されている。



16

（参考）評議員会、理事会、評議員選任・解任委員会の関係



18

理事

① 理事長の職務及び権限等

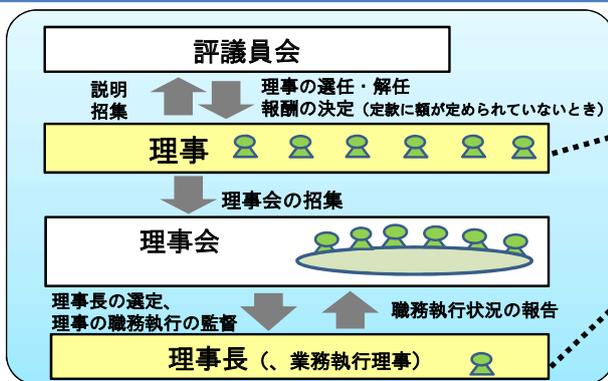
- 理事長は、理事会の決定に基づき（法第45条の13第2項第1号）、法人の内部的・対外的な業務執行権限を有する（法第45条の16第2項第1号）。対外的な業務執行をするため、法人の代表権を有する（法第45条の17第1項）。
- 理事長は、3か月に1回以上（定款で、毎会計年度に4ヶ月を超える間隔で2回以上とすることが可能）、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない（法第46条の16第3項）。※業務執行理事も同様

② 業務執行理事の職務及び権限等

- 理事長以外にも社会福祉法人の業務を執行する理事として業務執行理事を理事会で選定することができる（法第45条の16第2項）。業務執行理事は、理事長と違い代表権はないため、対外的な業務を執行する権限はない（法第45条の17第2項）。

③ ①及び②以外の理事の職務及び権限等

- 理事長及び業務執行理事以外の理事は、理事会における議決権の行使等を通じ、法人の業務執行の意思決定に参画するとともに（法第45条の13第2項第1号）、理事長や他の理事の職務の執行を監督（同項第2号及び第3号）する役割を担うこととなる。



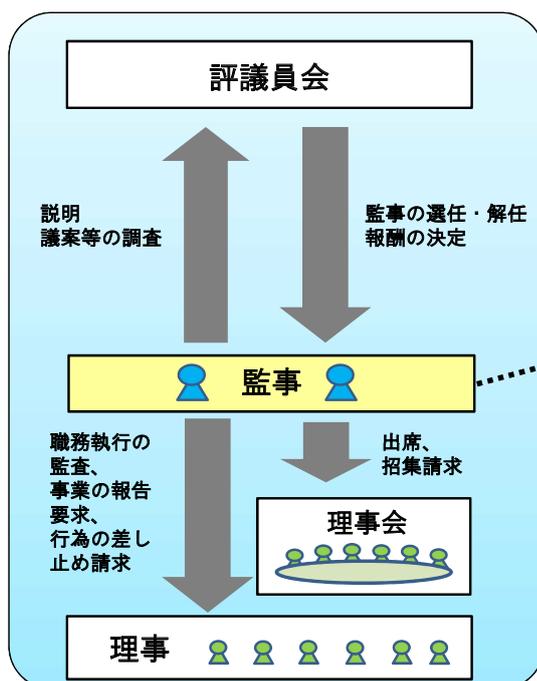
- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【理事の義務（主なもの）】 <ul style="list-style-type: none"> ・善管注意義務、忠実義務 ・利益相反取引の制限 ・評議員会における説明義務 ・監事に対する報告義務 | 【理事の責任（主なもの）】 <ul style="list-style-type: none"> ・法人に対する損害賠償責任 ・第三者に対する損害賠償責任 ・特別背任罪、贈収賄罪 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【理事長の権限】 <ul style="list-style-type: none"> ・法人の代表、業務の執行 | 【理事長の義務（主なもの）】 <ul style="list-style-type: none"> ・理事会への職務執行状況の報告義務 |
|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|

22

監事

- 監事は、理事の職務の執行を監査するために、監事には各種の権限が付与され、また義務が課される。
- 監事が複数いる場合でも、その権限は各監事が独立して行使でき、義務は各監事がそれぞれ負う。



- | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【監事の権限（主なもの）】 <ul style="list-style-type: none"> ・理事の職務執行の監査、監査報告の作成 ・計算書類等の監査 ・事業の報告要求（理事、職員に対し）、業務・財産の状況調査 ・理事会の招集請求 ・理事の行為の差し止め請求（法人に著しい損害が生ずるおそれがあるとき） ・会計監査人の解任 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

- | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【監事の義務（主なもの）】 <ul style="list-style-type: none"> ・善管注意義務（→理事と同じ） ・理事会への出席義務 ・理事会への報告義務（理事の不正行為又はそのおそれ、法令・定款違反、著しく不当な事実があるとき） ・評議員会の議案等の調査・報告義務（報告義務については法令・定款違反又は著しく不当な事項がある場合） ・評議員会における説明義務（→理事と同じ） |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

- | |
|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【監事の責任】 <ul style="list-style-type: none"> ・損害賠償責任、刑事罰等、いずれも理事と同じ。 |
|------------------------------------------------------------------------------------------|

23

理事会

○理事会の権限等

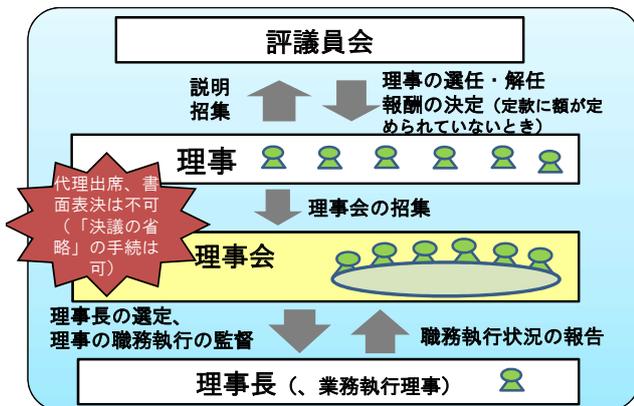
- ・ 理事会は、全ての業務執行の決定や理事の職務執行の監督を行うこととなる。
- ・ 法律又は定款に定める評議員会の決議事項以外の事項については、評議員会に諮る必要はない。

① 理事会の職務

- (ア) 業務執行の決定（法第45条の13第2項第1号）
- (イ) 理事の職務執行の監督（法第45条の13第2項第2号）
- (ウ) 理事長の選定および解職（法第45条の13第2項第3号及び同条第3項）

② 理事に委任することができない事項

- ・ 社会福祉法人においては、重要な財産の処分及び譲り受け等、法第45条の13第4項各号に列挙されている事項についての決定を理事に委任することができないこととしている（同条第4項）。これは、一部の理事による専横や複数の理事が法人の運営を巡って対立し、それぞれ独自に決定するといった混乱した事態が生ずるのを避けるためである。



【理事会の権限（主なもの）】

- ・ 法人の業務執行の決定
- ・ 理事の職務の執行の監督、理事長の選定及び解職
- ・ 利益相反取引の承認、計算書類・事業報告の承認
- ※ 以下の重要事項の決定は理事に委任できない。

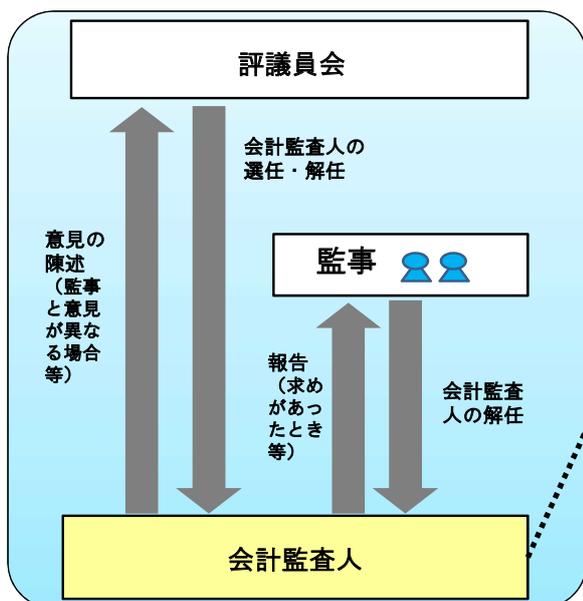
- ① 重要な財産の処分及び譲り受け
- ② 多額の借財
- ③ 重要な役割を担う職員の選任及び解任
- ④ 従たる事務所その他の重要な組織の設置、変更及び廃止
- ⑤ 内部管理体制
- ⑥ 定款の定めに基づく役員等の責任の免除

24

会計監査人

○ 会計監査人（公認会計士又は監査法人）は、計算書類等の監査を行う。

- 会計監査人を置く法人では、計算書類等は、理事会の承認を受ける前に、監事と会計監査人による二重の監査を受けることになる。ただし、会計監査人による計算書類等の監査が適正に行われているときは、監事は計算書類等の監査を省略できる。



【会計監査人の権限（主なもの）】

- ・ 計算書類等の監査
- ・ 会計帳簿等の閲覧・謄写、会計に関する報告要求（理事、使用人に対し）
- ・ 定時評議員会における意見の陳述（計算書類の適合性について監事と意見が異なる場合）

【会計監査人の義務（主なもの）】

- ・ 善管注意義務（→理事と同じ）
- ・ 監事への報告義務（理事の不正行為、法令・定款違反の重大な事実を発見したとき、監事からの求めがあったとき）
- ・ 定時評議員会における意見の陳述（会計監査人の出席を求める決議があったとき）

【会計監査人の責任】

- ・ 損害賠償責任については理事と同じ。刑事罰については、贈収賄罪は適用あり。

※ 会計監査人の設置が義務付けられる法人は、前年度の決算における法人単位事業活動計算書（第2号第1様式）中の「サービス活動増減の部」の「サービス活動収益計」が30億円を超える法人又は法人単位貸借対照表（第3号第1様式）中の「負債の部」の「負債の部合計」が60億円を超える法人である（施行令第13条の3）。 26

内部管理体制について

1. 概要

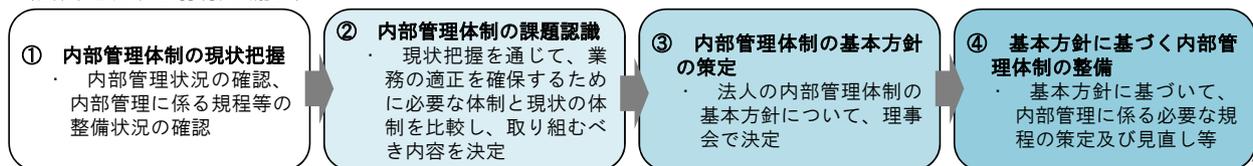
- 一定の事業規模を超える法人は、法人のガバナンスを確保するために、理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他社会福祉法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備（内部管理体制の整備）について、基本方針を理事会において決定し、当該方針に基づいて、規程の策定等を行うこととなる（法第45条の13第4項第5号及び第5項）。

2. 内部管理体制の内容

※ 一定規模については、会計監査人と同様。

- 内部管理体制の内容については、法に規定されている理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制のほか、以下の内容である（施行規則第2条の16）。
 - ① 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
 - ② 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
 - ③ 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
 - ④ 職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
 - ⑤ 監事がその職務を補助すべき職員を置くことを求めた場合における当該職員に関する事項
 - ⑥ ⑤の職員の理事からの独立性に関する事項
 - ⑦ 監事の⑤の職員に対する指示の実効性の確保に関する事項
 - ⑧ 理事及び職員が監事に報告をするための体制その他の監事への報告に関する体制
 - ⑨ ⑧の報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制
 - ⑩ 監事の職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手続その他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項
 - ⑪ その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

<法人における作業の流れ>



30

社会福祉法人の役員等の兼務について

1. 法人の役員・評議員・会計監査人・職員との兼務関係

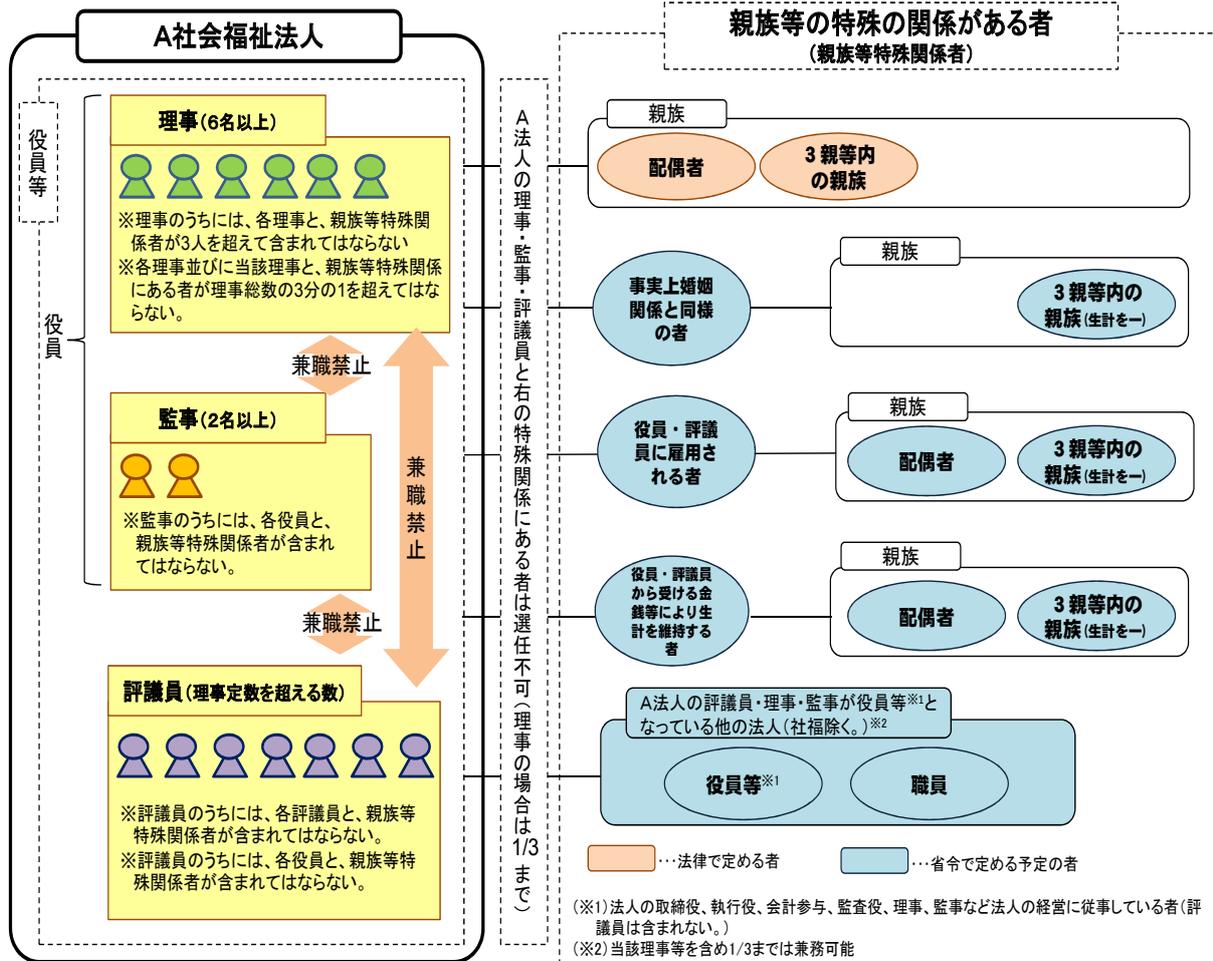
| | 会計監査人 | 監事 | 理事 | 評議員 | 職員 |
|-------|-------|----|----|-----|----|
| 会計監査人 | | × | × | × | × |
| 監事 | × | | × | × | × |
| 理事 | × | × | | × | ○ |
| 評議員 | × | × | × | | × |
| 職員 | × | × | ○ | × | |

2. 評議員・監事・会計監査人と顧問会計士等との兼務関係

| | 評議員 | 監事 | | 会計監査人 |
|------------------------------|---------------------|----|---|--------|
| 顧問会計士 顧問税理士 顧問弁護士 | 法律面・経営面の アドバイスのみ | ○ | ○ | 記帳代行業務 |
| | 記帳代行業務・税理士業務 | × | × | |
| 財務会計に係る 態勢整備状況の 点検等の支援 | 助言にとどまる場合 | ○ | ○ | 税理士業務 |
| | 業務執行に当たる場合 | × | × | |

32

社会福祉法人における親族等の特殊の関係のある者



33

評議員、理事、監事及び会計監査人の報酬

【評議員の報酬】

- 評議員の報酬は定款で定めなければならない。

【理事の報酬】

- 理事の報酬は、定款にその額を定めていないときは、評議員会の決議によって定める。

【監事の報酬】

- 監事の報酬は、定款にその額を定めていないときは、評議員会の決議によって定める。
- 定款又は評議員会の決議によって監事の報酬総額のみが決定されているときは、その具体的な配分は、監事の協議(全員一致の決定)によって定めることとなる。

【会計監査人の報酬】

- 会計監査人の報酬は、監事の過半数の同意を得なければならない。

※無報酬の場合は、その旨定めることとなる。

【区分ごとの報酬総額の公表】

- 理事、監事及び評議員の区分ごとの報酬総額については、平成29年度以降の現況報告書に記載の上、公表。

Q&A

問 理事、監事及び評議員の区分ごとの報酬等の総額については、職員としての給与も含めて公表することとしているが、職員給与を受けている理事が1名しかいない場合、当該理事の職員給与額が実質的に特定されることがあるが、このような場合であっても、公表する必要があるのか。

答

1. (略)個人情報保護の観点から、職員給与を受けている理事が1名の場合であって、個人の職員給与が特定されてしまう場合には、職員給与の支給を受けている理事がいる旨明記した上で、当該理事の職員給与額を含めずに役員報酬等の総額を公表することとして差し支えない。

37

社会福祉法人の書類等について

| | | 作成 | | 備置き・閲覧 | | 所轄庁への届出 | | 公表 | | |
|---------------------------|-------------------------------|-------|----------------|---------------------------------------|-----------------|---------------------------------------|------------|----------|----------------------------|----------------------------|
| | | 有無 | 根拠規定 | 有無 | 根拠規定 | 有無 | 根拠規定 | 有無 | 根拠規定 | |
| 計算書類等 | 計算書類（貸借対照表・事業活動計算書・資金収支計算書） | ○ | 法第45条の27第2項 | ○ | 法第45条の32第1項・第2項 | ○ | 法第59条第1号 | ○ | 法第59条の2第1項第3号・省令第10条第3項第1号 | |
| | 計算書類の附属明細書 | ○ | 法第45条の27第2項 | ○ | 法第45条の32第1項・第2項 | ○ | 法第59条第1号 | — | | |
| | 事業報告（法人の状況に関する重要な事項等） | ○ | 法第45条の27第2項 | ○ | 法第45条の32第1項・第2項 | ○ | 法第59条第1号 | — | | |
| | 事業報告の附属明細書（事業報告の内容を補足する重要な事項） | ○ | 法第45条の27第2項 | ○ | 法第45条の32第1項・第2項 | ○ | 法第59条第1号 | — | | |
| | 監査報告（会計監査報告を含む） | ○ | 法第45条の28 | ○ | 法第45条の32第1項・第2項 | ○ | 法第59条第1号 | — | | |
| 財産目録等 | 財産目録 | ○ | 法第45条の34第1項第1号 | ○ | 法第45条の34第1項第1号 | ○ | 法第59条第2号 | — | | |
| | 役員等名簿（役員等の氏名及び住所を記載した名簿） | ○ | 法第45条の34第1項第2号 | ○ | 法第45条の34第1項第2号 | ○ | 法第59条第2号 | ○ | 法第59条の2第1項第3号・省令第10条第3項第2号 | |
| | 報酬等の支給の基準を記載した書類（役員等報酬等支給基準） | ○ | 法第45条の34第1項第3号 | ○ | 法第45条の34第1項第3号 | ○ | 法第59条第2号 | ○ | 法第59条の2第1項第2号 | |
| | 事業の概要等 | 現況報告書 | ○ | 法第45条の34第1項第4号・省令第2条の41第1号～第13号及び第16号 | ○ | 法第45条の34第1項第4号・省令第2条の41第1号～第13号及び第16号 | ○ | 法第59条第2号 | ○ | 法第59条の2第1項第3号・省令第10条第3項第2号 |
| | | 事業計画書 | △ | 法第45条の34第1項第4号・省令第2条の41第15号 | △ | 法第45条の34第1項第4号・省令第2条の41第15号 | △ | 法第59条第2号 | — | |
| | | 算定シート | ○ | 法第45条の34第1項第4号・省令第2条の41第14号 | ○ | 法第45条の34第1項第4号・省令第2条の41第14号 | ○ | 法第59条第2号 | — | |
| 社会福祉充実計画（社会福祉充実残額がある場合のみ） | | ○ | 法第55条の2第1項 | — | | ○ | 法第55条の2第1項 | ○ | 事務処理基準 | |

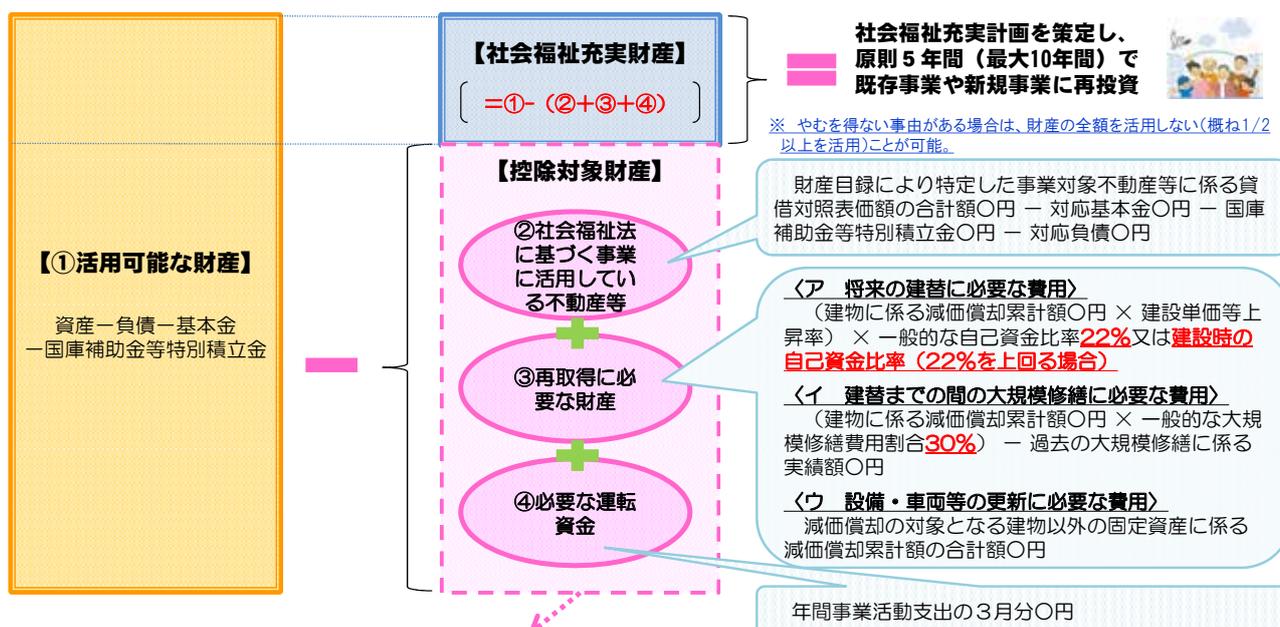
※1 △は定款で作成することになっている場合

※2 上記のほか、定款については、備置き・閲覧、公表をする必要がある。

39

「社会福祉充実財産」の算定式

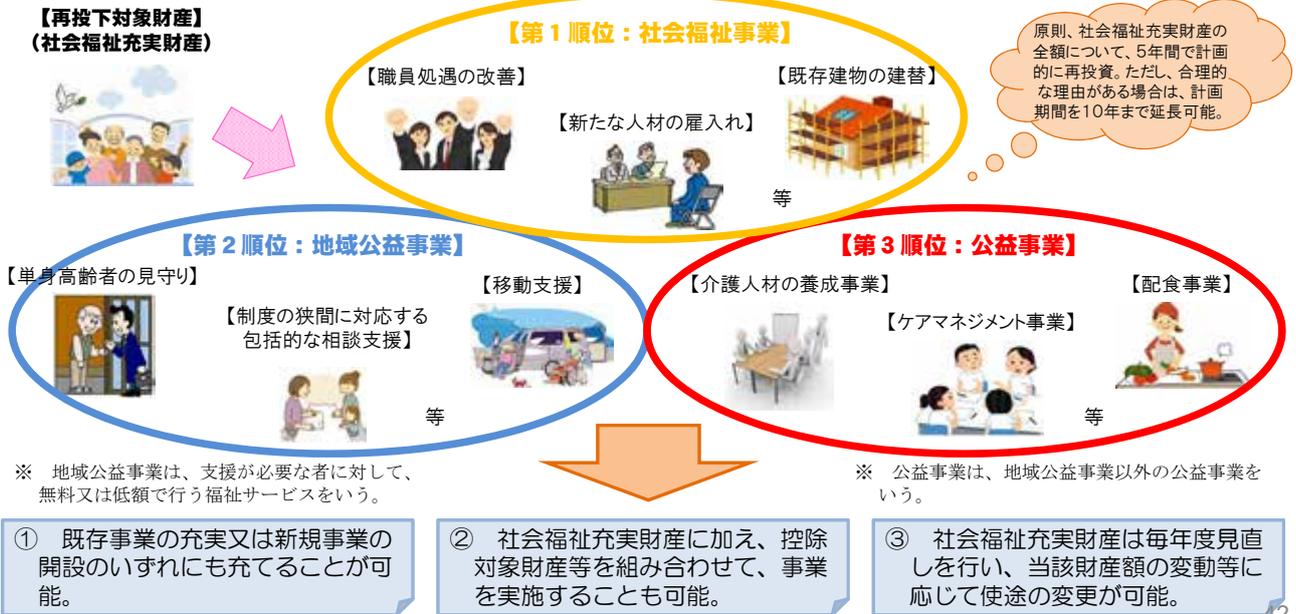
○ 社会福祉充実財産については、貸借対照表等の財務諸表を用いて、全ての社会福祉法人が公平かつ簡素に算定することができるよう、以下のとおり算定式を定める。



※ 【計算の特例】 上記にかかわらず、③+④合計額が年間事業活動支出を下回る場合は、②+④年間事業活動支出を控除対象財産とすることができる。41

再投下対象財産（社会福祉充実財産）の用途について

○ 再投下対象財産（社会福祉充実財産）は、法人が社会福祉充実計画を策定することにより、その用途を「見える化」するものであり、法人の自主的な経営判断の下、収益事業を除き、例えば以下のような様々な事業に柔軟に活用が可能である。



社会福祉充実計画の概要

○ 社会福祉充実計画については、社会福祉充実財産が生じる場合に、法人が当該財産の再投下を進めていく上で、地域住民等に対し、その用途を「見える化」するとともに、地域のニーズ等を踏まえた計画的な再投下を促す観点から、策定するもの。

| 事項 | 社会福祉充実計画のポイント |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 計画の記載内容 | ① 法人の基本情報 ② 社会福祉充実残額の推移 ③ 各年度における事業概要及び事業費 ④ 資金計画 ⑤ 事業の詳細 等 |
| 計画の実施期間等 | 原則5年で社会福祉充実財産の全額を再投下。 これにより難しい合理的な理由がある場合は、計画の実施期間を10年まで延長可。 また、実施期間の範囲で、事業の開始時期や終了時期、事業費は法人が任意に設定。 |
| 計画に位置付けるべき事業の種類 | 以下の順に、その実施を検討し、実施する事業の概要、事業費積算等を記載。 ① 社会福祉事業又は公益事業（社会福祉事業に類する小規模事業） ② 地域公益事業（日常生活又は社会生活上の支援を必要とする住民に対し、無料又は低額な料金で、その需要に応じた福祉サービスを提供する事業） ③ ①及び②以外の公益事業 |
| 計画の公表 | 計画を策定し、所轄庁に承認を受けた場合等には、法人のホームページ等において公表。 また、当該計画による事業の実績についても、毎年度公表に努める。 |

地域における公益的な取組を実施する責務

- 平成28年改正社会福祉法において、社会福祉法人の公益性・非営利性を踏まえ、法人の本旨から導かれる本来の役割を明確化するため、「地域における公益的な取組」の実施に関する責務規定が創設された。

(参考)社会福祉法(昭和26年法律第45号)(抄)
第24条(略)

- 2 社会福祉法人は、社会福祉事業及び第二十六条第一項に規定する公益事業を行うに当たっては、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金を、福祉サービスを積極的に提供するよう努めなければならない。



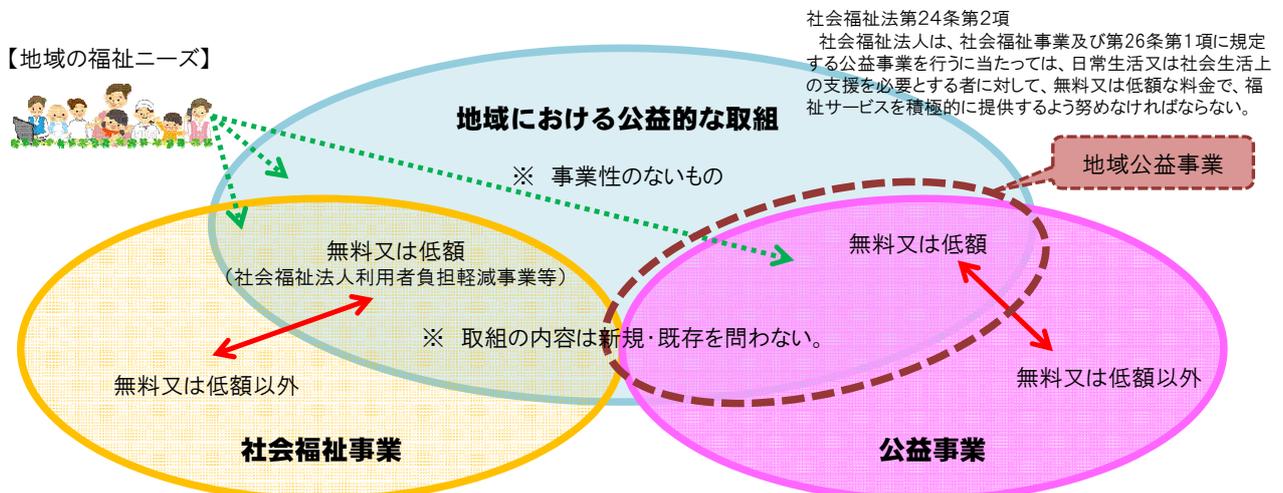
- **社会福祉法人の地域社会への貢献**
→ **各法人が創意工夫をこらした多様な「地域における公益的な取組」を推進**

地域において、少子高齢化・人口減少などを踏まえた福祉ニーズに対応するサービスが充実

50

改正社会福祉法第24条第2項について

- 社会福祉法人は、税制優遇措置が講じられている公益性の高い法人として、社会福祉事業の中心的な担い手としての役割を果たすのみならず、他の事業主体では困難な福祉ニーズに対応することが求められる法人であり、こうした公益性・非営利性を備えた法人本来の在り方を徹底する観点から、この本旨を明確化し、責務として位置付けたもの。
- 既に全国の社会福祉法人において実施されているものも多くあり、本責務規定の創設をもって、**必ずしも新たな取組の実施を義務付けるものではない。**
- その取組内容は、法人の経営方針や地域の福祉ニーズに応じて様々であることが考えられるが、法24条第2項の規定に反しない限りは、法人の自主性に委ねられるべきものであることに留意が必要。



52

平成28年会計年度の決算関係スケジュール（例）

注）あくまで、例示であることから、各社会福祉法人の実態に応じて適切に実施していただきたい。

| 期間 | 月日 | 主要項目 | |
|--------------|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 毎会計年度終了後3月以内 | 3月31日 | ○決算期 | |
| | 5月10日 | ○事業報告等（事業報告及びその附属明細書）の提出（理事→各監事） | |
| | | ○計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録の提出（理事→各監事） ＜（必要に応じて）特定理事の選定（任意）＞ | |
| | 4週間経過日（6月8日）まで | ○監事監査の実施 ・ 監事で監事監査の実施方法（日程、職務分担など）について協議 ・ 業務監査及び会計監査の実施 ・ 監査報告の作成 ＜（必要に応じて）特定監事の選定（任意）＞ | |
| | | 5月29日 | ○監査報告の提出（特定監事→特定理事） |
| | 5月31日 | ○理事会の開催（旧役員による）注）招集通知の発出は1週間前（招集手続の省略可） ・ 事業報告等、計算関係書類及び財産目録の承認 ・ 定時評議員会の日時・場所、議題等（決算・新役員・報酬基準等※）の決定 | |
| | 2週間前の日から（中14日間） | 6月1日 | ○事業報告等、計算関係書類及び監査報告を事務所に備置き |
| | | 6月1日 | ○定時評議員会の招集通知の発出（計算書類、事業報告、財産目録及び監査報告の提供） |
| | 1週間前まで（中7日間） | 6月16日 | ○定時評議員会の開催 ・ 計算書類及び財産目録の承認、事業報告の報告 ・ 新役員の選任、報酬基準の承認等※ |
| | | | ○理事会の開催（新役員による）注）招集通知の発出は1週間前（招集手続の省略可） ・ 理事長の選定等 |
| | | ○理事長等の登記（理事長選定後2週間以内） | |
| 6月30日まで | ○資産の総額の登記 ○所轄庁への届出・公表 ○財産目録等を事務所に備置き | | |

※ 社会福祉充実残額がある法人は、社会福祉充実計画の承認も併せて行うこととなる。

55

監事の監査報告について

計算関係書類・財産目録の監査

監事は、計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録を受領したときは、次に掲げる事項を内容とする監査報告を作成しなければならない（改正後社会福祉法施行規則第2条の27及び第2条の40第2項）。

- ・ 監事の監査の方法及びその内容
- ・ 計算関係書類が当該法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているかどうかについての意見
- ・ 監査のため必要な調査ができなかったときは、その旨及びその理由
- ・ 追記情報（会計方針の変更、重要な偶発事象、重要な偶発事象などの事項のうち、監事の判断に関して説明を付す必要がある事項又は計算関係書類の内容のうち強調する必要がある事項）
- ・ 監査報告を作成した日

事業報告等の監査

監事は、事業報告等（事業報告及びその附属明細書）を受領したときは、次に掲げる事項を内容とする監査報告を作成しなければならない（改正後社会福祉法施行規則第2条の36）。

- ・ 監事の監査の方法及びその内容
- ・ 事業報告及びその附属明細書が法令又は定款に従い当該法人の状況を正しく示しているかどうかについての意見
- ・ 当該法人の理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があったときは、その事実
- ・ 監査のため必要な調査ができなかったときは、その旨及びその理由
- ・ 内部管理体制の整備に関する決定又は決議の内容の概要及び当該体制の運用状況の概要（監査の範囲に属さないものを除く）がある場合において、当該事項の内容が相当でないとき認めるときは、その旨及びその理由 ※初年度は該当なし。
- ・ 監査報告を作成した日

＜監査報告書の様式例＞

※ 計算関係書類・財産目録及び事業報告等の監査報告を一本化した場合

監査報告書

平成29年〇月〇日

社会福祉法人〇〇福祉会
理事長 〇〇 〇〇 殿

監事 〇〇 〇〇 〇
監事 〇〇 〇〇 〇

私たち監事は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの平成28年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決議書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

56

2 東京都の動き

1 東京都保育士等キャリアアップ補助金

26 福保子保第 2960 号平成 27 年 3 月 16 日福祉保健局長決定 27 福保子保第 1384 号平成 27 年 11 月 1 日一部改正

第 1 目的

東京都保育士等キャリアアップ補助金（以下「補助金」という。）は、保育士等が保育の専門性を高めながら、やりがいを持って働くことができるよう、保育士等のキャリアアップに向けた取組に要する費用の一部を予算の範囲内で補助することにより、保育サービスの質の向上を図ることを目的とする。

第 2 交付の対象施設

この補助金の交付の対象となる施設は、児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）第 39 条第 1 項に規定する保育所（以下「保育所」という。）のうち、東京都の区域内に所在し、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）第 31 条の規定により区市町村の確認を受け、適正な運営が確保されている、次の(1)又は(2)に該当する施設（以下「交付対象施設」という。）とする。ただし、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成 18 年法律第 77 号）第 3 条第 1 項に規定する認定こども園の認定を受けた保育所を除く。

(1) 社会福祉法人、日本赤十字社、公益社団法人及び公益財団法人立の保育所

(2)平成 27 年 3 月 31 日時点において、東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱（保育所）（平成 26 年 3 月 28 日付 25 福保子保第 2875 号）に基づく交付対象施設であった個人、宗教法人及び一般財団法人立の保育所。ただし、設置者が変更となった場合は、交付対象施設としない。

2 前項の規定にかかわらず、次の(1)又は(2)に該当する者は、交付の対象としない。

(1) 暴力団（東京都暴力団排除条例（平成 23 年東京都条例第 54 号。以下「暴排条例」という。）第 2 条第 2 号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）

(2) 法人その他の団体の代表者、役員又は使用人その他の従業員若しくは構成員に暴力団員等（暴力団並びに暴排条例第 2 条第 3 号に規定する暴力団員及び同条第 4 号に規定する暴力団関係者をいう。）に該当する者があるもの

3 次のいずれかに該当する交付対象施設に対しては、補助金の一部又は全部を交付しないことができる。

- (1) 児童福祉法，社会福祉法（昭和 26 年法律第 45 号）又はこれらの法律に基づく命令の規定に違反したもの
- (2) 児童福祉法、社会福祉法又はこれらの法律に基づく命令の規定に違反した第 2 (1) 及び(2)に規定する保育所の設置者（以下「社会福祉法人等」という。）が設置するもの
- (3) 社会福祉法その他の法律の規定に基づき国の行政機関の長及び地方公共団体の長が実施する指導検査における行政指導（文書による指摘に限る。以下同じ。）について，度重なる指導にもかかわらず，改善しないもの又は改善の見込みがないもの
- (4) 社会福祉法その他の法律の規定に基づき国の行政機関の長及び地方公共団体の長が実施する指導検査における行政指導について，度重なる指導にもかかわらず，改善しない社会福祉法人等又は改善の見込みがない社会福祉法人等が設置するもの

第 3 交付の対象経費

この補助金の交付の対象となる経費は，交付対象施設に勤務する職員（非常勤職員を含み，経営に携わる法人の役員である職員を除く。）の人件費とする。

第 4 交付額の算定方法

この補助金の算定方法は，次の 1 から 3 までにより算定した額（1, 000 円未満の端数が生じた場合には，これを切り捨てる。）とする。なお，年度の途中に開設した施設については開設した日以降の期間により算定し，年度の途中に廃止した施設（第 2(2) のただし書きに該当する場合を含む）については廃止した日までの期間により算定する。

1 基本額

事業実施年度における各月について，別表 1 に定める年齢別・定員別単価に，当該年齢区分に応じた各月初日の在籍児童数を乗じて得た額の合計額とする。なお，別表 1 の定員区分における定員は，利用定員とする。

2 キャリアパス要件に応じた調整

第 5 の要件に適合する場合は 1 の基本額に 1.0 を乗じて得た額とし，第 5 の要件に適合しない場合は 1 の補助基準額に 0 を乗じて得た額とする。

3 福祉サービス第三者評価の受審・結果の公表に応じた調整

福祉サービス第三者評価（「東京都における福祉サービス第三者評価（指針）」の改正について（通知）（平成 24 年 9 月 7 日付 24 福保指第 638 号）」に規定するものをいう。以下同じ。）の受審・結果の公表の実施状況に応じて，次の(1)及び(2)のいずれかにより算定する。ただし，4 月 1 日に新規開設の施設については，開設年度から開設年度の翌々年度までに一度以上，福祉サービス第三者評価の受審・結果の公表を実施した場合に，(1) に該当するものとして取り扱う。この場合においては，開設年

度の翌年度までは未実施であっても(1)に該当するものとし、初回の実施後は(1)及び(2)のとおりとする。また、年度途中(4月2日以降)に新規開設の施設については、開設年度から開設年度の翌年度から3か年に一度以上、福祉サービス第三者評価の受審・結果の公表を実施した場合に、(1)に該当するものとして取り扱う。この場合においては、開設年度の翌々年度までは未実施であっても(1)に該当するものとし、初回の実施後は(1)及び(2)のとおりとする。

(1) 3年(補助対象期間が属する年度及び直前の過去2か年度)に一度以上、福祉サービス第三者評価の受審・結果の公表を実施している場合1及び2により算定した額とする。

(2) (1)以外の場合

1及び2により算定した額の2分の1の額とする。

第5 キャリアパス要件

次の1及び2のいずれにも適合し、「施設型給付費等に係る処遇改善等加算について」(平成27年3月31日府政共生第349号・26文科初第1463号・雇児発0331第10号内閣府政策統括官(共生社会政策担当)・文部科学省初等中等教育局長・厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知)に基づき、キャリアパス要件届出書を東京都知事(以下「知事」という。)に提出していること。

1次に掲げる要件の全てに適合すること。

(1) 施設職員の職位、職責又は職務内容等に応じた勤務条件等の要件(施設職員の賃金に関するものを含む。)を定めていること。

(2) (1)に掲げる職位、職責又は職務内容等に応じた賃金体系(一時金等の臨時的に支払われるものを除く。)について定めていること。

(3) (1)及び(2)の内容について就業規則等の明確な根拠規定を書面で整備し、全ての施設職員に周知していること。

2次に掲げる要件の全てに適合すること。

(1) 施設職員の職務内容等を踏まえ、施設職員と意見を交換しながら、資質向上の目標及び次のア及びイに掲げる具体的な計画を策定し、当該計画に係る研修(通常業務中に行う研修を除く。以下同じ。)の実施又は研修の機会を確保していること。

ア 資質向上のための計画に沿って、研修機会の提供又は技術指導等を実施するとともに、施設職員の能力評価を行うこと。

イ 保育士資格等を取得しようとする者がいる場合は、資格取得のための支援(研修受講のための勤務シフトの調整、休暇の付与、費用(交通費、受講料等)の援助等)を実施すること。

(2) (1)について、全ての施設職員に周知していること。

第 6 補助金の交付の申請

この補助金の交付を受けようとする社会福祉法人等は、別に定める日までに補助金交付申請書(キ-別記第1号様式)を知事に提出しなければならない。

第 7 変更の交付申請

この補助金の交付申請の内容を変更しようとする社会福祉法人等は、別に定める日までに補助金変更交付申請書(キ-別記第2号様式)を知事に提出しなければならない。

第 8 交付の決定等

知事は、第6又は第7による申請があったときは、当該申請書の内容を審査し、適当と認めた場合は、交付を決定し、申請者に通知する。

第 9 補助金の交付方法

この補助金は、社会福祉法人等の請求に基づき、第8で決定した額の12分の1の額を各月末日までに交付する。

第 10 事務委託

知事は、この補助金に係る事務の一部を、当該事務等を適切に行える法人等に委託することができる。

第 11 交付の条件

この補助金は、次の条件を付して交付する。

1 事情変更による決定の取消し等 知事は、交付の決定の後においても、事情の変更により特別の必要が生じたときは、この交付の決定の全部若しくは一部を取消し、又はこの交付の決定の内容若しくはこれに付した条件を変更することがある。ただし、補助事業のうち既に経過した期間に係る部分については、この限りでない。

2 承認事項 社会福祉法人等は次のいずれかに該当する場合は、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。ただし、(1)に掲げる事項のうち軽微なものについては、この限りでない。

(1) 補助事業の内容を変更しようとするとき。

(2) 補助事業を中止し、又は廃止しようとするとき。

3 事故報告等

社会福祉法人等は、補助事業の遂行が困難となった場合には、速やかにその理由及び状況を書面により知事に報告し、その指示を受けなければならない。

4 状況報告 社会福祉法人等は、知事の求めに応じて、補助事業の遂行の状況に関し

書面により報告しなければならない。

5 遂行命令及び遂行の一時停止命令 (1) 知事は、社会福祉法人等が提出する報告、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）

第 221 条第 2 項の規定による調査等により、補助事業がこの補助金の交付の決定の内容又はこれに付した条件に従って遂行されていないと認めるときは、社会福祉法人等に対しこれらに従って補助事業を遂行すべきことを命ずる。

(2) 社会福祉法人等が(1)の命令に違反したときは、知事は、社会福祉法人等に対し、当該補助事業の一時停止を命ずることができる。

6 実績報告書の提出 社会福祉法人等は、補助事業が完了したとき、又は補助金の交付の決定に係る会計年度が終了したときは、6 月 5 日までに実績報告書（キ - 別記第 3 号様式）を提出しなければならない。2 の (2) の規定により廃止の承認を受けた場合も、また同様とする。

7 補助金の額の確定等 知事は、6 の規定による実績報告書を受けた場合において、実績報告書の審査及び必要に応じて行う現地調査等により、当該報告に係る補助事業の成果がこの交付の決定の内容及びこれに付した条件に適合すると認めるときは、交付すべき補助金の額を確定し、社会福祉法人等に通知する。

8 是正のための措置 知事は、7 の規定による調査等の結果、補助事業の成果がこの交付の決定の内容及びこれに付した条件に適合しないと認めるときは、社会福祉法人等に対し、当該補助事業につき、これらに適合させるための処置をとることを命ずる。

9 決定の取消し(1)知事は、社会福祉法人等が次のいずれかに該当した場合は、この交付の決定の全部又は一部を取り消す。

ア 偽りその他不正な手段により補助金の交付を受けたとき。

イ 補助金を他の用途に使用したとき。

ウ その他この交付の決定の内容又はこれに付した条件その他法令若しくはこの交付の決定に基づく命令に違反したとき。

エ 補助金の交付決定を受けた者が第 2 の 2 に該当するに至ったとき。

(2) (1)の規定は、7 の規定により交付すべき補助金の額の確定があった後においても適用があるものとする。

10 補助金の返還 (1) 知事は、1 又は 9 の規定によりこの交付の決定を取り消した場合において、補助事業の当該取消しに係る部分に関し、既に補助金が交付されているときは、期限を定めて、その返還を命ずる。

(2) 知事は、7 の規定により社会福祉法人等に交付すべき補助金の額を確定した場合において、既にその額を超える補助金が交付されているときは、期限を定めて、その返還を命ずる。

11 違約加算金及び延滞金

(1) 社会福祉法人等は、9の(1)の規定によりこの交付の決定の全部又は一部取り消され、補助金の返還を命じられたときは、当該命令に係る補助金の受領の日から納付の日までの日数に応じ、当該補助金の受領額(その一部を納付した場合におけるその後の期間については、既納付額を控除した額)につき、年10.95パーセントの割合で計算した違約加算金(100円未満の場合を除く。)を納付しなければならない。

(2) 社会福祉法人等は、補助金の返還を命じられたにもかかわらず、これを納付期限までに納付しなかったときは、納付期限の翌日から納付の日までの日数に応じその未納額につき、年10.95パーセントの割合で計算した延滞金(100円未満の場合を除く。)を納付しなければならない。

12 違約加算金の計算

(1) 補助金が2回以上に分けて交付されている場合における11の(1)の規定の適用については、返還を命じられた額に相当する補助金は、最後の受領の日を受領したものとし、当該返還を命じられた額がその日に受領した額を超えるときは、当該返還を命ぜられた額に達するまで順次さかのぼり、それぞれの受領の日において受領したものとする。

(2) 11の(1)の規定により、社会福祉法人等が納付した違約加算金額が返還を命じた補助金の額に達するまでは、当該返還を命じた補助金の額に充てるものとする。

13 延滞金の計算

11の(2)の規定により延滞金の納付を命じた場合において、返還を命じた補助金の未納付額の一部が納付されたときは、当該納付の日の翌日以後の期間に係る延滞金の計算の基礎となるべき未納付額は、その納付金額を控除した額によるものとする。

14 他の補助金等の一時停止等

知事は、社会福祉法人等に対し、補助金の返還を命じ、社会福祉法人等が当該補助金、違約加算金又は延滞金の全部又は一部を納付しない場合において、社会福祉法人等に対して、同種の事務又は事業について交付すべき補助金等があるときは、相当の限度においてその交付を一時停止し、又は当該補助金と未納付額とを相殺するものとする。

15 交付対象施設の運営上の留意事項

この補助金の交付を受ける社会福祉法人等は、交付対象施設の運営に当たっては、別表2に定める各事項に留意し、遵守しなければならない。

16 帳簿及び関係書類の整理保管

この補助金の交付を受ける社会福祉法人等は、補助事業に係る収入、支出を記載した帳簿その他の関係書類を当該事業の属する会計年度終了後5年間整理保管しなければならない。

17 財務情報等の公表

この補助金の交付を受ける社会福祉法人等は、別に定めるところにより事業実施年

度の施設運営に係る財務情報等を作成し、知事に提出するとともに、利用者及び当該施設の全ての職員に対し、分かりやすい方法により公表しなければならない。

第12 特別基準

特別の事情により、第4から第11までに定める算定基準、交付の手續等によることができない場合は、あらかじめ知事の承認を受けて、その定めるところによることができる。

附則(平成27年3月16日付26福保子保第2960号)

第1 この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

第2 平成27年度の特例 平成27年度については、交付申請時に本則の第5に規定するキャリアパス要件届出書を提出していない場合であっても、第5に規定する要件を満たしたものとして交付額を算定し、補助金の交付の決定を行う。この場合においては、別に定める日までにキャリアパス要件届出書を知事に提出することを交付の条件とし、提出がなかった場合は交付の決定を取り消す。

附則(平成27年11月1日付27福保子保第1384号)

この要綱は、平成27年4月1日から施行し、適用する。

3 区市町村の動き

○ 保育の基準と地域格差

(1) 0歳児保育面積について

都内各区市町村では、0歳児の必要面積を5㎡としているが、江戸川、目黒等が3.3㎡を可としている。逆に調布は5.5㎡としている。

なお、定員外入所、年度途中入所については、昭島、あきる野、羽村、府中、武蔵村山、日の出、瑞穂、奥多摩等が3.3㎡を可としている。

(2) 1歳児の配置について

1歳児の職員配置は、一般的に児童5人に対し保育士1名としているが、江戸川、あきる野、八王子、日の出、瑞穂、奥多摩が児童6人に対し保育士1名で可としている。

(3) 10人区分加算について

国の保育単価の10人区分制が実現したことにより、現在、(区?)市町村では子育て推進交付金の10人区分加算と二重加算になっているが、江戸川、府中が二重加算を解消している。

(4) 地域手当について

地域手当は都内各区市町村で0%地域(その他の地域)～20%地域(特別区)までであるが、これについても子育て推進交付金の「一般保育対策費」で加算されており、月の給与から天引きされる、会社独自の福利厚生制度です。住居は配属園の近隣で用意してもらいます。二重加算となっているが、これについての調整の有無は情報が無い。また、以前は級地加算では都内全域12%加算(特別区加算)で是正されていたのに対し、現状では地域格差が著しい。

(5) 保育士宿舎借り上げ支援事業

保育士の待遇改善策として、住宅支援制度が導入された。一人暮らしで保育士の仕事をするうえで大きな支援となる。実施状況は自治体により異なり、大きく分けて3つのパターンがある。

パターン1：借り上げ社宅(法人が社宅を用意)

勤務先の法人が契約している物件に居住する。家賃の一部が自己負担分として毎月の給与から天引きされる場合もある。住居は配属園の近隣に用意する。金額、条件等

は自治体により異なる。

パターン2：住宅手当（毎月手当として支給される）

毎月の給与に、手当として支給される。借り上げ社宅と同様に自治体によって金額や条件等は大きく異なる。

パターン3：行政の住宅支援制度（保育従事職員宿舎借り上げ支援事業）

保育士確保を目的に、自治体が保育運営事業者に対して住宅支援金を補助する制度。法人の借り上げ社宅の居住が条件になっている。待機児童問題の深刻度が高い首都圏を中心に実施されている。

保育士宿舎借り上げ支援事業のメリットとして、家賃のほとんどを補助でまかなうことができる。一方、同制度を採用していない羽村市勤務の保育士と上限13万円の補助を受ける千代田区とでは、それが実質的給与格差となっている。

4 羽村市の動き

○ 公立保育園民営化が完了

平成28年度をもって全市立保育園が民営化された。

○ 保育従事職員宿舎借り上げ事業

平成29年度中に要項整備の見込み

○ 社会福祉法人情報交換会

主催：羽村市社会福祉協議会

オブザーバー参加：羽村市福祉健康部社会福祉課

参加法人

| 法人名 | 施設名 |
|--------|-------------------|
| 玉水学園 | 玉水保育園 |
| 岳峰会 | 富士見第一保育園，富士見第二保育園 |
| かやの実社 | かやの実保育園，さくら保育園 |
| 聖実福祉会 | 富士みのり保育園 |
| 松栄福祉会 | まつの木保育園，まつぼっくり保育園 |
| 鶴亀会 | 神明園 |
| 陽光福祉会 | 太陽の子保育園，あおぞら保育園 |
| そよかぜ | ひばり園 |
| ココロの会 | チューリップ保育園 |
| たつの子の会 | たつの子保育園 |
| 東京武尊会 | 羽村園 |
| 園盛会 | 多摩の里むさしの園 |
| コロロ学舎 | 五乃神学園 |

羽村市社会福祉協議会

平成28年度設置，4回開催

かやの実社 28年度 事業報告

かやの実社保育理念

かやの実社は、我が国の児童憲章と児童福祉法，ならびに国連の児童権利宣言に基き設立され，保育所を運営している。両親にとって大切な子を預かり，国や人類の明日を担う大切な宝との考えに立ち，家庭と相談，協力し合って，子ども達の心と体と知恵が健やかに育つよう努める。

児童は，人として尊ばれる。

児童は，社会の一員として重んぜられる。

児童は，よい環境のなかで育てられる。

子どもは人類の宝，私たちの未来。子どもは非常に不安定な存在であるとともに，無限の可能性を持っている。本法人では，創立以来卒園証書に一つの言葉を書き続けている。

「いきていることを すばらしいと おもうおとなに なってください」と。

そのように育てるのは私たち大人の義務であり，責任でもある。

かやの実保育園では，生まれ育った日本の文化を後の世に伝えるだけでなく，地球の上には沢山の民族があり異なった文化があることに目を向け，理解し合い認め合い，交流していくことの大切さも，子どもたちに伝えていきたいと考えている。

かやの実社基本方針

- 1 ひとりひとりを大切にする
- 2 保育園の日課，生活リズムを大切にする
- 3 日本民族の伝承の歌として「わらべうた」を子どもたちに伝える
- 4 日本の伝承文化，和太鼓を子どもたちに伝える
- 5 異年齢保育を行う
- 6 食育と調理保育を行う
- 7 地域支援を行う
- 8 異文化交流を行う

法人の状況

役員・職員

理事長 勝山 明里（かやの実保育園 職員）
理事 武藤 清美（かやの実保育園 園長）
理事 勝山 妍子（スーパーバイザー）
理事 山本 壽夫（大学教授・経営コンサルタント）
理事 二上 護（弁護士）
理事 川井 富美子（元社会福祉協議会監事）
理事 今 裕司（老人デイサービス施設 施設長）
理事 奥積 アイ（社会福祉法人 理事長）
理事 小玉 充（田中理事より交代・保育園 園長）
監事 石井 賢郎（公認会計士）
監事・苦情処理第三者委員 田中 雄二（両角監事より交代・保育園 園長）
苦情処理第三者委員 今井 まち子（看護師・青梅市役所 相談員）
事務局 勝山 真澄（さくら保育園 園長）
事務局 泉井 敦子（法人統括事務責任者 かやの実保育園事務長）
事務局 勝山 智現
評議員選任解任委員 泉井 敦子（法人事務局長）
田中 雄二（監事・委員長）
橋本 美佐子（保育園 園長）
三浦 多佳子（社会福祉法人 理事）

1. 理事会開催状況

1. 平成 28 年度第 1 回理事会

出席理事 7 名, 出席監事 2 名

日時: 平成 28 年 5 月 24 日(火)

午前 10 時 30 分より

場所: ピエモンテ会議室

議題

第 1 号議案: 平成 27 年度事業報告案について

結果: 全員一致で可決承認

第 2 号議案: 平成 27 年度決算案, ならびに監事監査報告

結果: 全員一致で可決承認

第 3 号議案: 平成 27 年度第 5 次補正予算案について

結果: 全員一致で可決承認

2. 平成 28 年度第 2 回理事会

出席理事 9 名, 出席監事 2 名

日時: 平成 28 年 7 月 12 日(火)

午前 10 時 30 分より

場所: ピエモンテ会議室

議題

第 1 号議案: 社会福祉法人制度改革案について

結果: 全員一致で可決承認

第 2 号議案: 社会福祉法人かやの実社の今後の組織運営案について

結果: 全員一致で可決承認

第 3 号議案: ホームページ制作更新・維持管理・セキュリティー案について

結果: 全員一致で可決承認

3. 平成 28 年度第 3 回理事会

出席理 7 名, 出席監事 1 名

日時: 平成 28 年 9 月 5 日(月)

午後 10 時 30 分より

場所: ピエモンテ会議室

議題

第1号議案：社会福祉法人定款例（案）に基づいた定款（案）について

結果：全員一致で可決承認

第2号議案：11月の役員改選と来年4月の新制度について

結果：全員一致で可決承認

第3号議案：事務局長候補案について

結果：全員一致で可決承認

4. 平成28年度第4回理事会

出席理事9名，出席監事2名

日時：平成28年11月8日(火)

午前10時30分より

場所：ピエモンテ会議室

議題

第1号議案：社会福祉法人定款例（案）に基づいた定款（案）について

結果：一部修正後全員一致で可決承認

第2号議案：11月の役員改選と来年4月の新制度について

結果：全員一致で可決承認

第3号議案：事務局体制について

結果：全員一致で可決承認

第4号議案：その他（平成29年度給料表（案））について

結果：全員一致で可決承認

5. 平成28年度第5回理事会

出席理事6名，出席監事2名

日時：平成29年1月14日(火)

午前10:30分時より

場所：ピエモンテ会議室

議題

第1号議案：定款届け出と一部訂正について

結果：全員一致で可決承認

第2号議案：評議員選任・解任委員会について

結果：全員一致で可決承認

第3号議案：評議員候補案について

結果：全員一致で可決承認

第4号議案：平成28年度第一次補正予算案について

結果：全員一致で可決承認

6. 平成28年度第6回理事会

出席理事9名，出席監事2名

日時：平成29年3月14日(火)

午前10時30分より

場所：ピエモンテ会議室

議題

第1号議案：評議員選任解任委員会の報告

結果：全員一致で可決承認

第2号議案：案平成29年度事業計画及び予算案

結果：全員一致で可決承認

第3号議案：第三号議案 理事候補案

結果：全員一致で可決承認

第4号議案：平成28年度第二次補正予算案

結果：全員一致で可決承認

II. 評議員選任・解任委員会開催状況

1. 平成 28 年度第 1 回評議員選任・解任委員会

出席委員 4 名, その他 (理事長, 事務局 1 名)

日時: 平成 29 年 2 月 27 日(月)

午後 5 時より

場所: ピエモンテ会議室

議題

第 1 号議案: 委員の委嘱, 委員会運営規程ならびに運営について

結果: 全員一致で可決承認

第 2 号議案: 評議員案について

結果: 全員一致で可決承認

第 3 号議案: 第三号議案 理事候補案

結果: 全員一致で可決承認

第 4 号議案: 理事候補について (お願い)

結果: 追加理事候補の推薦有り

Ⅲ. 社会福祉法人かやの実社の運営する施設と事業

1. かやの実保育園

東京都羽村市栄町2丁目1番地の5

- ① 認可保育所 かやの実保育園
- ② わらべの実
- ③ 老人施設交流事業
- ④ 年末保育

平成28年度かやの実保育園事業報告書記載。

2. さくら保育園

羽村市羽加美2丁目2576番地の1

- ① 認可保育所 さくら保育園
- ② 年末保育

平成28年度さくら保育園事業報告書記載。

3. わらべうたと遊びの広場「花いちもんめ」

かやの実保育園1階ホールで実施

平成28年度かやの実保育園事業報告書記載。

Ⅲ. 中長期事業

1. 施設整備

- (1) かやの実保育園長期修繕計画 ☞ 平成25年度作成
- (2) かやの実保育園5年修繕 ☞ 平成28年度実施
- (3) さくら保育園長期修繕計画作成 ☞ 平成29年度作成予定

2. 法人運営

- (1) 評議員選任・解任委員会設置 ☞ 平成28年度設置
- (2) 評議員会 ☞ 平成29年度設置予定
- (3) 新規理事会 ☞ 平成29年度設置予定
- (4) 法人改革にともなう定款の改正 ☞ 平成28年度改正
- (5) (4)にともなう諸規定の改正 ☞ 平成29年度改正予定

IV. 経営分析

1. 決算状況

表 1-1. 平成 28 年度法人単位資金収支計算書 (決算)

| 区分 | 収入 | 支出 | 差額 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 事業活動による収支 | 452,300,506 | 368,645,197 | 83,655,309 |
| 施設整備等による収支 | 15,685,000 | 66,294,547 | -50,609,547 |
| その他の活動による収支 | 40,183,540 | 66,019,900 | -25,836,360 |
| 予備費 | | | 0 |
| 当期資金収支差額合計 | | | 7,209,402 |
| 前期末支払資金残高 | | | 46,713,221 |
| 当期末支払資金残高 | | | 53,922,623 |

表 1-2. 平成 27 年度法人単位資金収支計算書 (決算)

| 区分 | 収入 | 支出 | 差額 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 事業活動による収支 | 427,126,139 | 353,767,458 | 73,357,681 |
| 施設整備等による収支 | 280,420,000 | 321,646,118 | -41,226,118 |
| その他の活動による収支 | 60,871,600 | 70,988,193 | -10,116,593 |
| 予備費 | | | 0 |
| 当期資金収支差額合計 | | | 22,014,970 |
| 前期末支払資金残高 | | | 24,698,251 |
| 当期末支払資金残高 | | | 46,713,221 |

表 2-1. 平成 28 年度法人単位事業活動計算書 (決算)

| 区分 | 収益 | 費用 | 差額 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| サービス活動増減の部 | 446,986,256 | 387,140,576 | 59,845,680 |
| サービス活動外増減の部 | 5,314,250 | 5,136,880 | 177,370 |
| 経常増減差額 | | | 60,023,050 |
| 特別増減の部 | 15,685,000 | 25,685,003 | -10,000,003 |
| 当期活動増減差額 | | | 50,023,047 |
| 前期繰越活動増減差額 | | | 78,990,669 |
| 当期末繰越活動増減差額 | | | 129,013,716 |
| その他の積立金取崩額 | | | 40,000,000 |
| その他の積立金積立額 | | | 60,000,000 |
| 次期繰越活動増減差額 | | | 106,013,716 |

表 2-2. 平成 27 年度法人単位事業活動計算書 (決算)

| 区分 | 収益 | 費用 | 差額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|
| サービス活動増減の部 | 421,658,610 | 362,534,099 | 59,124,511 |
| サービス活動外増減の部 | 5,466,529 | 4,703,285 | 763,244 |
| 経常増減差額 | | | 59,887,755 |
| 特別増減の部 | 180,420,000 | 180,420,000 | -0 |
| 当期活動増減差額 | | | 59,887,755 |
| 前期繰越活動増減差額 | | | 24,131,314 |
| 当期末繰越活動増減差額 | | | 84,019,069 |

| | |
|------------|------------|
| その他の積立金取崩額 | 60,871,600 |
| その他の積立金積立額 | 65,900,000 |
| 次期繰越活動増減差額 | 78,990,669 |

2. 決算報告書（別冊）

3. 損益分岐点（別紙）

4. 収支計算分析表（別紙）

5. 保育園長期修繕予算計画暫定版（別紙）

6. 社会福祉残額計算書（別紙）

V さくら保育園施設整備

1. 資金表

さくら保育園施設整備資金表

| 収入・財源 | | 支出 | | | | | | |
|-----------------|-------------|-------------------|---------------|------------------------|---------------|------------|--------------|------------------|
| 27年度補助金 | | 26年度 | | | | | | |
| 安心子ども基金 | 196,315,000 | 仮園舎 | 借地代金 | 清水 亮一 | H26年4月～H27年2月 | 1,100,000 | 清水 亮一 | |
| 福祉医療機構 | 100,000,000 | | | | | | | |
| 合計 | 296,315,000 | 本園舎前空地 | 借地代金 | | | | 羽村 彰 | |
| 自己財源(25年度末積立金) | | 象地域設計 | 設計業務委託費・報酬額 | H26年8月29日(本部) | | 1,577,000 | 設計業務委託費・報酬額 | |
| 法人 | 31,665,577 | | | H26年9月24日(本部) | | 4,730,000 | | |
| 市施設整備 | 23,465,577 | | | H27年3月26日(本部) | | 10,260,000 | | |
| その他の積立金 | 8,200,000 | | 建築等確認申請 | H27年2月25日(かやの実) | | 540,000 | 建築等確認申請 | |
| 施設(かやの実) | 38,405,380 | | | | | | | |
| 保育所施設整備 | 7,500,000 | その他工事 | 地質調査・シマ地質(株) | H27年2月25日 | | 270,000 | 新園舎敷地平板載荷試験 | |
| 都施設整備 | 4,805,380 | | | | | | | 地下タンク撤去・サカエエネルギー |
| 市施設整備 | 26,100,000 | | | | | | | |
| 自己財源(26年度末積立金増) | 10,500,000 | | | | | | | |
| 施設(かやの実) | 10,500,000 | 仮園舎建物関係 | | | | | 日成ビルド | |
| 保育所施設整備 | 10,500,000 | | | | | | 仮園舎リース | |
| 施設(さくら) | 10,000,000 | | | | | | 東芝ロジスティクス | |
| 市施設整備 | 10,000,000 | 園舎引越 | | | | | 東芝ロジスティクス | |
| 自己財源合計 | 90,570,957 | | | | | | カトービルド | |
| | | 本園舎建築 | | | | | カトービルド | |
| | | 26年度施設整備計 | | | | 18,477,000 | 27年度施設 | |
| | | 遊具関係 (経常経費) | ニレ工房・机・椅子 | 見積・7月30日理事会承認2,975,400 | | | ニレ工房・中間金 | |
| | | | ニレ工房・前渡金 | H26年9月1日 | | 1,000,000 | ニレ工房・残金 | |
| | | | 便器交換, ウォシュレット | H26年5月30日 | | 283,800 | ジャクエツ・配膳台 | |
| | | | 会計ソフト・チャイルド | H26年5月30日 | | 129,000 | まな板殺菌庫・ホシザキ | |
| | | | ノートパソコン | H26年5月31日 | | 181,440 | 離乳食椅子・テーブル | |
| | | | 和太鼓, 関連用品 | H26年5月32日 | | 412,000 | コット・シーツ追加 | |
| | | | レスキュー高性能浄水器 | H26年6月30日 | | 299,400 | チャイルド・避難車 | |
| | | | 桃源堂・コット・シーツ | H27・3月・31日 | | 837,864 | ままごとセット | |
| | | | | | | | 衝立て | |
| | | | | | | | チャイルド・オムツ交換台 | |
| | | | | | | | ナガサワ・タオル掛 | |
| | | | | | | | その他・かご | |
| | | | | | | | ジョイントカーベット | |
| | | | | | | | ロールカーテン等 | |
| | | | | | | | 事務机, 職員机 | |
| | | | | | | 耐火金庫 | | |
| | | | | | | 職員ロッカー | | |
| | | 26年度 事業経費支出計 | | | | 3,143,504 | 27年度 事業経 | |
| 施設整備財源 | 386,885,957 | 26年度支出済額 | | | | 21,620,504 | 27年度事業経 | |
| 施設整備支出 | 372,878,195 | その他の自己財源(26年度未現在) | | | | | 27年度事業経 | |
| 収支差額 | 14,007,762 | 修繕積立金 | 20,296,000 | 26年度事業経費実績 | | | | |
| 事業経費財源 | 26,313,504 | 人件費積立金 | 11,000,000 | 事業経費財源 | 3,143,504 | さくら | | |
| 事業経費支出 | 13,942,648 | 合計 | 31,296,000 | 事業経費支出 | 3,143,504 | かやの実 | | |
| 収支差額 | 12,370,856 | | | 事業経費収支 | 0 | 合計 | | |
| 財源合計 | 413,199,461 | 26年度支払い済 | 21,620,504 | 事業経費財源 | | | | |
| 支払額合計 | 386,820,843 | 27年度支払見込 | 189,152,339 | 事業経費支出 | | | | |
| 収支差額 | 26,378,618 | 28年度支払見込 | 176,048,000 | 事業経費収支見込 | | | | |

社会福祉法人かやの実社 かやの実保育園 長期修繕計画表（推定修繕工事項目（小項目）別、年度別）

| 点検・修繕項目 | 修繕区分 | 経年1年目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|------------------------|---------------------------|---------------------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|--------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| | | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 | 2030 | 2031 | 2032 |
| 外部 | 直接仮設 | 足場等 | - | 設置 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建築 | 屋根 | 不燃シングル | 塗装 | 全面改修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 水切り金物 | 塗装 | 全面改修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 雨樋 | 塩ビ製 | 塗装 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 外壁・上げ表 | コンクリート下地タイル貼り | 補修 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | コンクリート下地 吹付(弾性タイル、弾性リシン) | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 軒天 | ケイカル板の上塗装、岩綿吸音板 | 塗装 | 塗装・取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 屋上 | アスファルト防水(保護コンクリート) | 塗膜防水 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 防水 | パラペット | コンクリートの上塗膜防水、セメント板 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | バルコニー | 塗膜防水(ウレタン) | 保護塗装 | 全面改修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 庇・笠木 | モルタルの上塗膜防水 | 保護塗装 | 全面改修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | シーリング | 打継目地、サッシ回り、配管回り、その他 | 打替え | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ポーチ・玄関 | 透水性アスファルト | 塗装・補修 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 屋上(3階) | 弾性舗装材 | 補修 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ウッドデッキ | 木製(アフゼリア、セラランゴック) | 塗装 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 鋼製建具 | アルミ、鋼材、ガラス、シール | 部品交換 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外階段 | | コンクリート下地防腐剤ビニル床シート | 補修・貼替 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋上フェンス、バルコニー手摺等 | | スチール、塩ビ被覆パイプ、ポリカーボネート板 | 補修 | 塗装・交換 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 門扉・塀・フェンス | ステンレス、アルミ、コンクリートブロック基礎 | 補修 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 掲示板・物干し金物等 | アルミ | 補修 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 手足洗い、砂場、ピオトップ | コンクリート(またはCB)下地弾性保護材塗 | (塗替) | 下地補修・塗替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| テント | 可動式(手動) | 補修 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鶏小屋 | コンクリート基礎、木造、電器金庫、電力配線 | 補修 | 全面改修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外部 小計(単位:万円) | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 105 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 105 | 0 | 0 | 0 | |
| 内部 | 床 | フローリング(ムク) | 塗装 | 貼替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | フローリング(複合) | 塗装 | 貼替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ビニル床シート | 一部貼替 | 貼替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 合成畳 | (裏返し) | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 壁 | タイル | 補修 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ボードの上のビニルクロス | 一部貼替 | 貼替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 化粧フレキシブルボード | 一部貼替 | 貼替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | しっくい塗(生石灰クリーム) | 補修 | 塗替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 天井 | 木部(腰壁) | 塗装 | 貼替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 岩綿吸音板、化粧石膏ボード、化粧フレキシブルボード | 補修 | 貼替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建具・家具類・手摺等 | 木部の上塗装、木り板 | 塗装・補修 | 貼替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部 小計(単位:万円) | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 55 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 55 | 0 | 0 | 0 | |
| 建築 中計(単位:万円) | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 160 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 160 | 0 | 0 | 0 | |
| 電気 | 引き込み、受変電、幹線 | 開閉器・分電盤 | (点検) | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 配線・配管 | - | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 電灯・コンセント | 照明器具、スイッチ、コンセント | (点検) | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | TV、TEL、情報機器 | 音響機器、電気錠等 | - | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 消防設備、警報設備 | 自動火災報知器、通報装置、110番通報設備、消火器 | (点検) | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 機械警備設備 | 防犯カメラ、センサー、操作盤 | (点検) | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 電気式床暖房 | コントローラー、配線 | - | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 太陽光発電 | パネル、機器、配線 | 部品交換 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 風力発電 | 聞き、配線 | 部品交換 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 電気 小計(単位:万円) | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | |
| 設備 | 給水 | 水栓類 | - | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 配管 | - | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 排水・通気 | 配管 | - | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 給湯器 | 本体 | 補修 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 給湯 | 温水器 | 本体 | 補修 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ドライミスト | 機器、配管 | (点検) | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 雨水利用 | 機器、ポンプ | 点検 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 衛生器具 | 機器 | 補修 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 厨房設備 | 機器 | - | 補修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ガス設備 | 配管類 | 点検 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 空調・換気設備 | 空調機器 | 点検 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 換気扇 | 点検 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| オゾン | 機器、配管 | (点検) | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| エレベーター | 籠、駆動部 | (点検) | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機械 小計(単位:万円) | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 設備 中計(単位:万円) | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | | |
| 総額(単位:万円) | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 170 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 170 | 0 | 0 | | |
| 修繕費用目安各年計(単位:万円) | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 170 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 170 | 0 | 0 | | |
| 修繕費用目安各年計(単位:万円) | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 170 | 170 | 170 | 170 | 170 | 170 | 170 | 170 | 170 | 170 | 170 | 170 | 170 | | |
| 施設整備積立金各年計(単位:万円) | | | | 750 | 1,100 | 950 | 900 | -10,000 | 900 | 900 | 900 | 900 | 900 | 900 | 900 | 900 | 900 | 900 | 900 | 900 | 900 | | |
| 施設整備積立金各年計(単位:万円) | | | | 3,820 | 4,920 | 5,870 | 6,770 | -3,230 | 1,430 | -1,430 | -530 | 370 | 1,270 | 2,170 | 3,070 | 3,970 | 4,870 | 5,770 | 6,670 | 7,570 | 8,470 | | |
| 修繕費用と積立金の差額(単位:万円) | | | | 3,820 | 4,920 | 5,870 | 6,770 | -3,230 | 1,430 | -1,430 | -700 | 200 | 1,100 | 2,000 | 2,884 | 3,784 | 4,684 | 5,584 | 6,484 | 7,384 | 8,284 | | |

別紙 さくら保育園長期修繕計画暫定版

単位(万円)

| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51年目 | 備考 |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---------|------|------|------|----|
| 2033 | 2034 | 2035 | 2036 | 2037 | 2038 | 2039 | 2040 | 2041 | 2042 | 2043 | 2044 | 2045 | 2046 | 2047 | 2048 | 2049 | 2050 | 2051 | 2052 | 2053 | 2054 | 2055 | 2056 | 2057 | 2058 | 2059 | 2060 | 2061 | |
| H45 | H46 | H47 | H48 | H49 | H50 | H51 | H52 | H53 | H54 | H55 | H56 | H57 | H58 | H59 | H60 | H61 | H62 | H63 | H64 | H65 | H66 | H67 | H68 | H69 | H70 | H71 | H72 | H73 | |
| ● 300 | | | | | | | | | | | | | ● 300 | | | | | | | | | | | | ● 300 | | | | |
| ● 100 | | | | | | | | | | | | | ● 100 | | | | | | | | | | | | ● 100 | | | | |
| ● 10 | | | | | | | | | | | | | ● 10 | | | | | | | | | | | | ● 10 | | | | |
| ○ 30 | | | | | | | | | | | | | ○ 30 | | | | | | | | | | | | ○ 30 | | | | |
| ○ 340 | | | | | | | | | | | | | ○ 340 | | | | | | | | | | | | ○ 340 | | | | |
| ○ 280 | | | | | | | | | | | | | ○ 280 | | | | | | | | | | | | ○ 280 | | | | |
| ○ 40 | | | | | | | | | | | | | ○ 40 | | | | | | | | | | | | ○ 40 | | | | |
| ○ 150 | | | | | | | | | | | | | ○ 150 | | | | | | | | | | | | ○ 150 | | | | |
| ○ 40 | | | | | | | | | | | | | ○ 40 | | | | | | | | | | | | ○ 40 | | | | |
| ○ 100 | | | | | | | | | | | | | ○ 100 | | | | | | | | | | | | ○ 100 | | | | |
| ○ 50 | | | | | | | | | | | | | ○ 50 | | | | | | | | | | | | ○ 50 | | | | |
| ○ 190 | | | | | | | | | | | | | ○ 190 | | | | | | | | | | | | ○ 190 | | | | |
| ○ 200 | | | | | | | | | | | | | ○ 200 | | | | | | | | | | | | ○ 200 | | | | |
| ○ 10 | | | | | | | | | | | | | ○ 10 | | | | | | | | | | | | ○ 10 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 15 | | | | | | | | | | | | | ○ 15 | | | | | | | | | | | | ○ 15 | | | | |
| ○ 30 | | | | | | | | | | | | | ○ 30 | | | | | | | | | | | | ○ 30 | | | | |
| ○ 5 | | | | | | | | | | | | | ○ 5 | | | | | | | | | | | | ○ 5 | | | | |
| ○ 10 | | | | | | | | | | | | | ○ 10 | | | | | | | | | | | | ○ 10 | | | | |
| ○ 250 | | | | | | | | | | | | | ○ 250 | | | | | | | | | | | | ○ 250 | | | | |
| ○ 130 | | | | | | | | | | | | | ○ 130 | | | | | | | | | | | | ○ 130 | | | | |
| ○ 10 | | | | | | | | | | | | | ○ 10 | | | | | | | | | | | | ○ 10 | | | | |
| ○ 2,205 | | | | | | | | | | | | | ○ 2,205 | | | | | | | | | | | | ○ 2,205 | | | | |
| ○ 1,180 | | | | | | | | | | | | | ○ 1,180 | | | | | | | | | | | | ○ 1,180 | | | | |
| ○ 10 | | | | | | | | | | | | | ○ 10 | | | | | | | | | | | | ○ 10 | | | | |
| ○ 30 | | | | | | | | | | | | | ○ 30 | | | | | | | | | | | | ○ 30 | | | | |
| ○ 11 | | | | | | | | | | | | | ○ 11 | | | | | | | | | | | | ○ 11 | | | | |
| ○ 10 | | | | | | | | | | | | | ○ 10 | | | | | | | | | | | | ○ 10 | | | | |
| ○ 120 | | | | | | | | | | | | | ○ 120 | | | | | | | | | | | | ○ 120 | | | | |
| ○ 160 | | | | | | | | | | | | | ○ 160 | | | | | | | | | | | | ○ 160 | | | | |
| ○ 175 | | | | | | | | | | | | | ○ 175 | | | | | | | | | | | | ○ 175 | | | | |
| ○ 520 | | | | | | | | | | | | | ○ 520 | | | | | | | | | | | | ○ 520 | | | | |
| ○ 110 | | | | | | | | | | | | | ○ 110 | | | | | | | | | | | | ○ 110 | | | | |
| ○ 140 | | | | | | | | | | | | | ○ 140 | | | | | | | | | | | | ○ 140 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 2,456 | | | | | | | | | | | | | ○ 2,456 | | | | | | | | | | | | ○ 2,456 | | | | |
| ○ 4,661 | | | | | | | | | | | | | ○ 4,661 | | | | | | | | | | | | ○ 4,661 | | | | |
| ○ 10 | | | | | | | | | | | | | ○ 10 | | | | | | | | | | | | ○ 10 | | | | |
| ○ 110 | | | | | | | | | | | | | ○ 110 | | | | | | | | | | | | ○ 110 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | | | | | | | | | ○ 20 | | | | |
| ○ 20 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

社会福祉法人かやの実社 さくら保育園 長期修繕計画表（推定修繕工事項目（小項目）別、年度別）

| 点検・修繕項目 | 修繕区分 | 経年1年目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----------------|---------------------------|--------------------|---------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|------|---|
| | | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 | 2030 | 2031 | 2032 | 2033 | 2034 | 2035 | 2036 | 2037 | |
| 外部 | 直接仮設 | 足場等 | - | 設置 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋根 | 不燃シングル | 塗装 | 全面改修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 水切り金物 | 塗装 | 全面改修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 雨樋 | 塩ビ製 | 塗装 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外壁・上げ表 | コンクリート下地タイル貼り | 補修 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | コンクリート下地 吹付(弾性タイル、弾性リシン) | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | (外壁下地補修) | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 軒天 | ケイカル板の上塗装、岩綿吸音板 | 塗装 | 塗装・取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 防水 | 屋上 | アスファルト防水(保護コンクリート) | 塗膜防水 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | パラペット | コンクリートの上塗膜防水、セメント板 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | バルコニー | 塗膜防水(ウレタン) | 保護塗装 | 全面改修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 庇・笠木 | モルタルの上塗膜防水 | 保護塗装 | 全面改修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | シーリング | 打継目地、サツン回り、配管回り、その他 | 打替え | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 床 | ポーチ・玄関 | 透水性アスファルト | 塗装・補修 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | インターロッキングブロック | 補修 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 屋上(3階) | 弾性舗装材 | 補修 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ウッドデッキ | 木製(アフゼリア、セラランゴック) | 塗装 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 鋼製建具 | アルミ、銅材、ガラス、シール | 部品交換 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 屋外階段 | コンクリート下地滑り止めビニル床シート | 補修・貼替 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 屋上フェンス、バルコニー手摺等 | スチール、塩ビ被覆パイプ、ポリカーボネート板 | 補修 | 塗装・交換 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 門扉・扉・フェンス | ステンレス、アルミ、コンクリートブロック基礎 | 補修 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 掲示板・物干し金物等 | アルミ | 補修 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 手足洗い、砂場、ピオトップ | コンクリート(またはCB)下地弾性保護材塗 | (塗替) | 下地補修・塗替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | テント | 可動式(手動) | 補修 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 鶏小屋 | コンクリート基礎、木造、電器金庫、電力基礎 | 補修 | 全面改修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外部 小計(単位:万円) | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 105 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,895 | 0 | 0 | 0 | 105 | 0 | 0 | 0 | |
| 内部 | 床 | フローリング(ムク) | 塗装 | 貼替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | フローリング(複合) | 塗装 | 貼替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ビニル床シート | 一部貼替 | 貼替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 合成畳 | (裏返し) | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | タイル | 補修 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 壁 | ボードの上のビニルクロス | 一部貼替 | 貼替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 化粧フレキシブルボード | 一部貼替 | 貼替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | しっくい塗(生石灰クリーム) | 補修 | 塗替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 天井 | 木部(腰壁) | 塗装 | 貼替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 岩綿吸音板、化粧石膏ボード、化粧メキシルボード | 補修 | 貼替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建具・家具類・手摺等 | | 木部の上塗装、木り板 | 塗装・補修 | 貼替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内部 小計(単位:万円) | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 55 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 451 | 0 | 0 | 0 | 55 | 0 | 0 | 0 | |
| 建築 中計(単位:万円) | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 160 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,346 | 0 | 0 | 0 | 160 | 0 | 0 | 0 | |
| 電気 | 引き込み、受変電、幹線 | 開閉器・分電盤 | (点検) | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 配線・配管 | - | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 電灯・コンセント | 照明器具、スイッチ、コンセント | (点検) | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | TV、TEL、情報機器 | 音響機器、電気錠等 | - | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 消防設備、警報設備 | 自動火災報知器、通報装置、110番通報設備、消火器 | (点検) | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 機械警備設備 | 防犯カメラ、センサー、操作盤 | (点検) | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 電気式床暖房 | コントローラー、配線 | - | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 太陽光発電 | パネル、機器、配線 | 部品交換 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 風力発電 | 聞き、配線 | 部品交換 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 電気 小計(単位:万円) | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 310 | 0 | 0 | 0 | 930 | 0 | 0 | 0 |
| 設備 | 給水 | 水栓類 | - | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 配管 | - | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 排水・通気 | 配管 | - | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 給湯器 | 本体 | 補修 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 温水器 | 本体 | 補修 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ドライミスト | 機器、配管 | (点検) | (取替) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 雨水利用 | 機器、ポンプ | 点検 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 衛生器具 | 機器 | 補修 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 厨房設備 | 機器 | - | 補修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ガス設備 | 配管類 | 点検 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 空調・換気設備 | 空調機器 | 点検 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 換気扇 | 点検 | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| オゾン | 機器、配管 | (点検) | (取替) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| エレベーター | 籠、駆動部 | (点検) | 取替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機械 小計(単位:万円) | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 60 | 0 | 0 | 0 | 150 | 0 | 0 | 0 | | |
| 設備 中計(単位:万円) | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 370 | 0 | 0 | 0 | 1,080 | 0 | 0 | 10 | | |
| 中計 | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 170 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,716 | 0 | 0 | 0 | 2,716 | 0 | 0 | 10 | | |
| 総額(単位:万円) | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 170 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,716 | 0 | 0 | 0 | 1,080 | 0 | 0 | 10 | | |
| 修繕費用目安各年計(単位:万円) | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 170 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,716 | 0 | 0 | 0 | 1,080 | 0 | 0 | 10 | | |
| 修繕費用目安累計(単位:万円) | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 170 | 170 | 170 | 170 | 170 | 170 | 2,886 | 2,886 | 2,886 | 3,966 | 4,126 | 15,277 | 15,277 | | |
| 施設整備積立金各年計(単位:万円) | | | | | 0 | 200 | 400 | 400 | 700 | 700 | 700 | 700 | 700 | 700 | 700 | 2,886 | 2,886 | 2,886 | 3,966 | 4,126 | 15,277 | 15,277 | | |
| 施設整備積立金累計(単位:万円) | | | | | 0 | 200 | 600 | 1,000 | 1,700 | 2,400 | 3,100 | 3,800 | 4,500 | 5,200 | 5,900 | 6,600 | 7,300 | 8,000 | 8,700 | 9,400 | 10,100 | 10,800 | | |
| 修繕費用と積立金の差額(単位:万円) | | | | | 0 | 200 | 600 | 1,000 | 1,700 | 1,700 | 2,330 | 3,630 | 4,330 | 5,030 | 5,730 | 3,714 | 4,414 | 5,114 | 5,814 | 6,514 | 7,214 | 7,914 | | |

別紙 社会福祉充実残額計算書

社会福祉充実

1.「活用可能な財産の算定」

| 項目 | 金額 |
|----------------|-------------|
| 資産(a) | 866,698,830 |
| 負債(b) | 204,690,501 |
| 基本金(c) | 38,983,290 |
| 国庫補助金等特別積立金(d) | 381,283,166 |
| 合計(a-b-c-d) | 241,741,873 |

手入力(必須入力)するセルです(※「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」搭載版では、他シートを参照するための計算式が設定されています)

計算式が設定されており、入力することはできません。

手入力するセルです。(不明の場合は、記載要領に従って入力してください)

合計額を算出するための計算式が設定されており、入力することはできません。

2.「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」

(1)財産目録における貸借対照表価額

| | |
|-------|-------------|
| 合計(a) | 659,204,152 |
|-------|-------------|

(2)対応負債

| 項目 | 金額 |
|-----------------|-------------|
| 1年以内返済予定設備資金借入金 | 7,840,000 |
| 1年以内返済予定リース債務 | 3,609,810 |
| 設備資金借入金 | 128,399,000 |
| リース債務 | 9,570,420 |
| 合計(b) | 149,419,230 |

(3)合計

| 項目 | 金額 |
|----------------|-------------|
| 財産目録合計(a) | 659,204,152 |
| 対応負債合計(b) | 149,419,230 |
| 対応基本金(c) | 38,240,358 |
| 国庫補助金等特別積立金(d) | 381,283,166 |
| 合計(a-b-c-d) | 90,261,398 |

3.「再取得に必要な財産」

(1)将来の建替費用

| 財産の名称等 | 取得年度 | 建設時延べ床面積 (少数点以下第4位を四捨五入) | 建設時自己資金 | 大規模修繕実績額 | 減価償却累計額 | 建設単価等上昇率 | | | | |
|-------------|------|-----------------------------|------------|----------|------------|------------------|-------------------|----------------------|-----------------|---------|
| | | | | | | ①建設工事費 デフレーター | ②1㎡当たり単価上昇率 | | | a/(b/c) |
| | | | | | | | 一般的1㎡当たり 単価(a) | 当該建物の建設時の取 得価額(b) | 建設時延べ床 面積(c) | |
| 園舎(かやの実保育園) | 2011 | 814.540 | 23,186,741 | | 70,243,872 | 1.028 | 250,000 | 310,448,241 | 814.540 | 0.656 |
| 園舎(さくら保育園) | 2016 | 915.070 | 77,850,518 | | 15,060,052 | 1.000 | 250,000 | 373,955,518 | 915.070 | 0.612 |
| | | | | | | | 250,000 | | | |
| | | | | | | | 250,000 | | | |
| | | | | | | | 250,000 | | | |
| 合計 | | | | | | | | | | |

※ 割合は小数点第4位四捨五入。
※ 行が不足する場合は適宜追加すること。

(3)設備・車輛等の更新に必要な費用

| | |
|----|------------|
| 合計 | 32,294,892 |
|----|------------|

(4)合計

| 項目 | 金額 |
|-----------------|------------|
| 将来の建替費用 | 19,199,565 |
| 大規模修繕に必要な費用 | 20,641,086 |
| 設備・車輛等の更新に必要な費用 | 32,294,892 |
| 合計 | 72,135,543 |

4.「必要な運転資金」

| 項目 | 金額 | 月数 | 合計額 | |
|----------|-------------|----|-----|------------|
| 年間事業活動支出 | 368,645,197 | 12 | 3 | 92,161,299 |

5.「計算の特例」

| 項目 | 金額 | 月数 | 合計額 | |
|----------|-------------|----|-----|-------------|
| 年間事業活動支出 | 368,645,197 | 12 | 12 | 368,645,197 |

6.「社会福祉充実残額」

| 項目 | 金額 | 控除対象財産計 |
|------------------------|--------------|-------------|
| 活用可能な財産 | 241,741,873 | 458,906,595 |
| 社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等 | 90,261,398 | |
| 再取得に必要な財産 | | |
| 必要な運転資金 | | |
| 計算の特例 | 368,645,197 | |
| 合計 | ▲217,160,000 | |

残額算定シート (by PPC)

ますので、手入力は不要となります。)

| ①、②のいずれか 高い方の率 | ③一般の自己 資金比率 | 自己資金比率 | | ③、④のいずれか 高い方の率 | 合計額 |
|-------------------|----------------|----------------|-------|-------------------|------------|
| | | ④建設時自己資金比率 | | | |
| | | 建設時自己資金 (d) | d/b | | |
| 1.028 | 22% | 23,186,741 | 7.5% | 22.0% | 15,886,354 |
| 1 | 22% | 77,850,518 | 20.8% | 22.0% | 3,313,211 |
| - | 22% | - | - | 22.0% | - |
| - | 22% | - | - | 22.0% | - |
| - | 22% | - | - | 22.0% | - |
| | | | | | 19,199,565 |

(2)大規模修繕に必要な費用

| 減価償却累計額 (a) | 一般的大規模修繕 費用比率 (b) | 大規模修繕実績額 | 合計額① | ※大規模修繕額が不明な場合 | | 合計額 (①、②のいずれか) |
|----------------|-------------------------|----------|------|----------------|-----------------------------------------------|-------------------|
| | | | | 貸借対照表価額 (c) | 合計額② ($(a \times b) \times c / (a + c)$) | |
| 70,243,872 | 30% | - | - | 240,204,369 | 16,305,022 | 16,305,022 |
| 15,060,052 | 30% | - | - | 358,895,466 | 4,336,064 | 4,336,064 |
| - | 30% | - | - | - | - | - |
| - | 30% | - | - | - | - | - |
| - | 30% | - | - | - | - | - |
| | | | | | | 20,641,086 |

別紙 損益分岐

かやの実保育園

1. 基礎D

| | |
|----|------------|
| 定員 | 人数 110 |
| | 年間延べ 1,320 |
| | 民改率 12% |



4・5才児換算児童定員 398
年間延べ 4,776

換算率
3才児 ×1.5
2才児 ×5
1才児 ×6
0才児 ×10

2. 年次推移表

≒ 直近3年間の資金収支計算書と比較することにより、施設経営の成長性を示す

※PPC顧客平均値(H23年度)

| | | 28年度 | (1)比率 | 27年度 | (1)比率 | 26年度 | (1)比率 | 平均値※ | (1)比率 | 備考 |
|----------------------------|------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|----|
| 年間延べ園児数(人) | | 1,443 | | 1,390 | | 1,443 | | | | |
| 4・5才児換算延べ園児数(人) | | 5,317 | 換算 | 5,028 | 換算 | 5,317 | 換算 | | | |
| 定員対比年間稼働率 | | 109.3% | 111.3% | 105.3% | 105.3% | 109.3% | 112.1% | | | |
| 事業活動に関する収支 | 収入 | | | | | | | | | |
| | 委託費収入 | 127,198,660 | 53.3% | 122,358,110 | 52.1% | 107,205,780 | 54.0% | | | |
| | その他の事業収入(保育事業収入) | 108,970,602 | 45.6% | 110,145,490 | 46.9% | 88,277,330 | 44.5% | | | |
| | 借入金利息補助金収入 | 119,712 | 0.1% | 127,992 | 0.1% | 136,272 | 0.1% | | | |
| | 経常経費寄付金収入 | 20,000 | 0.0% | 5,000 | 0.0% | 0 | 0.0% | | | |
| | 受取利息配当金収入 | 172 | 0.0% | 3,301 | 0.0% | 2,278 | 0.0% | | | |
| | その他の収入 | 2,420,170 | 1.0% | 2,423,679 | 1.0% | 2,760,760 | 1.4% | | | |
| | 事業活動収入計(1) | 238,729,316 | 100.0% | 235,063,572 | 100.0% | 198,382,420 | 100.0% | 188,209,970 | 100.0% | |
| | 支出 | | | | | | | | | |
| | 人件費支出 | 160,830,650 | 67.4% | 154,459,594 | 65.7% | 154,731,015 | 78.0% | 134,850,138 | 73.4% | |
| 事業費支出 | 19,007,004 | 8.0% | 18,240,806 | 7.8% | 17,408,233 | 8.8% | 19,454,322 | 10.3% | | |
| 事務費支出 | 16,502,643 | 6.9% | 17,421,275 | 7.4% | 16,680,210 | 8.4% | 15,826,146 | 8.4% | | |
| 支払利息支出 | 138,530 | 0.1% | 148,110 | 0.1% | 157,694 | 0.1% | | | | |
| その他の支出 | 2,310,700 | 1.0% | 2,339,400 | 1.0% | 2,324,000 | 1.2% | | | | |
| 事業活動支出計(2) | 198,789,527 | 83.3% | 192,609,185 | 81.9% | 191,301,152 | 96.4% | 170,130,606 | 90.4% | | |
| 事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) | 39,939,789 | 16.7% | 42,454,387 | 18.1% | 7,081,268 | 3.6% | 18,079,364 | 9.6% | | |
| 施設整備等による収支 | 収入 | | | | | | | | | |
| | 施設整備等補助金収入 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 18,500,000 | 9.3% | | | |
| | 施設整備等寄付金収入 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | | | |
| | 設備資金借入金収入 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | | | |
| | 施設整備等収入計(4) | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 18,500,000 | 9.3% | | | |
| | 支出 | | | | | | | | | |
| 設備資金借入金元金償還支出 | 2,604,000 | 1.1% | 2,604,000 | 1.1% | 2,604,000 | 1.3% | | | | |
| 固定資産取得支出 | 580,392 | 0.2% | 1,783,598 | 0.8% | 831,240 | 0.4% | | | | |
| ファイナンス債務の返済支出 | 1,383,480 | 0.6% | 1,459,080 | 0.6% | 1,459,080 | 0.7% | | | | |
| 施設整備費等支出計(5) | 4,567,872 | 1.9% | 5,846,678 | 2.5% | 4,894,320 | 2.5% | | | | |
| 施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5) | -4,567,872 | -1.9% | -5,846,678 | -2.5% | 13,605,680 | 6.8% | | | | |
| その他の活動による収支 | 収入 | | | | | | | | | |
| | 積立資産取崩収入 | 0 | 0.0% | 55,201,600 | 23.5% | 8,060,340 | 4.1% | | | |
| | 拠点区分間繰入金支出 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | | | |
| | その他の活動による収入計(7) | 0 | 0.0% | 55,201,600 | 23.5% | 8,060,340 | 4.1% | | | |
| | 積立資産積立支出 | 31,680,840 | 13.3% | 34,958,760 | 14.9% | 20,171,440 | 10.2% | | | |
| | 拠点区分間繰入金支出 | 0 | 0.0% | 55,741,600 | 23.7% | 8,540,000 | 4.3% | | | |
| その他の活動による支出 | 0 | 0.0% | 487,805 | 0.2% | 0 | 0.0% | | | | |
| その他の活動による支出計(8) | 31,680,840 | 13.3% | 91,188,165 | 38.8% | 28,711,440 | 14.5% | 0 | 0.0% | | |
| その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8) | -31,680,840 | -13.3% | -35,986,565 | -15.3% | -20,651,100 | -10.4% | | | | |
| 当期資金収支差額合計(10)=(9)+(6)+(9) | 3,691,077 | 1.5% | 621,144 | 0.3% | 35,848 | 0.0% | | | | |
| 前期末支払資金残高(11) | 18,376,138 | | 17,654,590 | | 17,719,146 | | | | | |
| 当期末支払資金残高(12)=(10)+(11) | 22,067,215 | 9.2% | 18,275,734 | 7.8% | 17,754,994 | 8.9% | | | | |

3. 収益性

≒ 施設がいかにか効率的な経営をしているか、また、それにより資金がいくら残ったかを示す

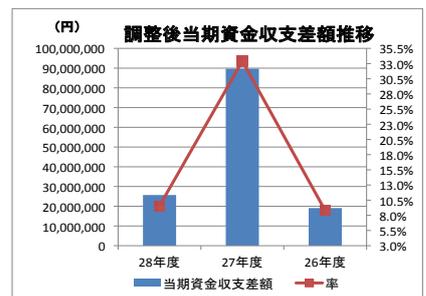
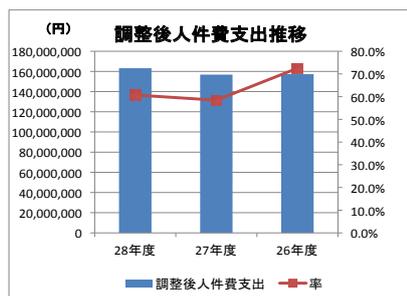
| | 28年度 | (1)比率 | 27年度 | (1)比率 | 26年度 | (1)比率 |
|----------------------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|
| + | 238,729,316 | | 235,063,572 | | 198,382,420 | |
| + | 0 | | 0 | | 60,340 | |
| + | 30,000,000 | | 33,300,000 | | 18,500,000 | |
| 【調整後】経常収入計 A | 268,729,316 | | 268,363,572 | | 216,942,760 | |
| ① 人件費比率 B ÷ A | | | | | | |
| + | 160,830,650 | | 154,459,594 | | 154,731,015 | |
| + | 1,185,345 | | 1,202,397 | | 849,785 | |
| + | 0 | | 0 | | 0 | |
| + | 1,117,500 | | 1,162,200 | | 1,671,440 | |
| 【調整後】人件費計 B | 163,133,495 | 60.7% | 156,824,191 | 58.4% | 157,252,240 | 72.5% |
| ② 事業活動資金収支差額比率 C ÷ A | | | | | | |
| + | 39,939,789 | | 42,454,387 | | 7,081,268 | |
| + | 0 | | 0 | | 60,340 | |
| ▲ | -1,671,440 | | -1,818,220 | | -1,671,440 | |
| + | 0 | | 0 | | 18,500,000 | |
| + | 1,383,480 | | 1,459,080 | | 1,459,080 | |
| 【調整後】事業活動資金収支差額 C | 39,651,829 | 14.8% | 42,095,247 | 15.7% | 25,429,248 | 11.7% |
| ③ 当期資金収支差額比較 D ÷ A | | | | | | |
| + | 3,691,077 | | 621,144 | | 35,848 | |
| ▲ | 0 | | 0 | | 0 | |
| + | 0 | | 55,741,600 | | 8,540,000 | |
| ▲ | -8,000,000 | | 0 | | -8,000,000 | |
| + | 30,000,000 | | 33,300,000 | | 18,500,000 | |
| 【調整後】当期資金収支差額合計 D | 25,691,077 | 9.6% | 89,662,744 | 33.4% | 19,075,848 | 8.8% |

※保育士・看護師・給食業務委託

事業活動収入に占める人件費の割合をより正確に示している

事業活動で、資金がいくら残ったかを示している

施設整備や資金調達・返済を含めた施設運営全体で、資金がいくら残ったかを示している



社会福祉法人かやの実社
かやの実保育園
経営分析シート2 by P.P.Cかやの実改変

4. 収支分岐点

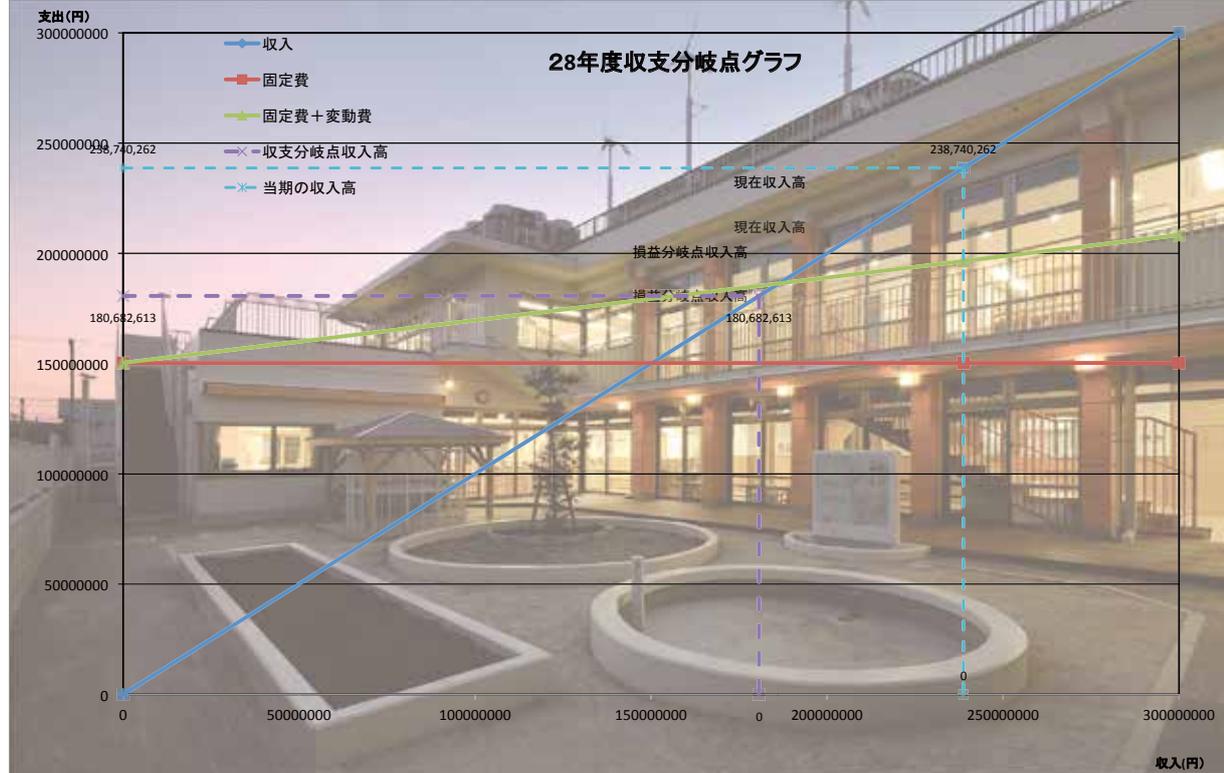
≒ 経常活動に於いて、収支が等しくなる(収支がトントンになる)収入がいくらであるか示している

| | 28年度 | 27年度 | 26年度 |
|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 委託費収入 | 127,198,660 | 122,358,110 | 107,205,780 |
| その他の事業収入 | 108,970,602 | 110,145,490 | 88,277,330 |
| 雑収入 | 2,571,000 | 2,559,972 | 2,821,340 |
| 施設設備費積立預金に充てた補助金収入 | 0 | 0 | 18,500,000 |
| 【収支分岐点算出用】収入 | 238,740,262 | 235,063,572 | 216,804,450 |
| 人件費支出 | 160,830,650 | 154,459,594 | 154,731,015 |
| 職員俸給他 固定費 ※ | 133,665,317 | 130,917,148 | 131,368,933 |
| 非常勤給与派遣 変動費 | 27,165,333 | 23,542,446 | 23,362,082 |
| 事務費支出 固定費 | 16,502,643 | 17,421,275 | 16,680,210 |
| 事業費支出 変動費 | 19,007,004 | 18,240,806 | 17,408,233 |
| 借入金利息支出(純額) 固定費 ※ | 138,530 | 148,110 | 21,422 |
| 借入金元金償還金支出(純額) 固定費 | -4,567,872 | -5,846,678 | 13,605,680 |
| 固定費計 | 145,738,618 | 142,639,855 | 161,676,245 |
| 変動費計 | 46,172,337 | 41,783,252 | 40,770,315 |
| 【収支分岐点算出用】支出 | 191,910,955 | 184,423,107 | 202,446,560 |

損益分岐点比率は、現在の収入高に対する損益分岐点収入高の比率をいい、低いほど効率的な経営ができていていると考えられる。

※ 変動費とは収入の増減に比例して増減する費用をいい、固定費とは収入が増減しても変動無く発生する費用をいう。

| | 28年度 | 27年度 | 26年度 | 計算式 |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-----------------------|
| 収支分岐点収入高 | 180,682,613 | 173,475,674 | 198,121,207 | 固定費支出÷(1-(変動費支出÷収入)) |
| 収支分岐点比率 | 75.7% | 73.8% | 91.8% | 損益分岐点収入高÷【損益分岐点算出用】収入 |
| 1か月当たりの損益分岐点園児数(人) | 91.0 | 85.5 | 110.4 | 延べ年間児童数÷12月×損益分岐点比率 |
| 1か月当たりの損益分岐点換算園児数(人) | 335.3 | 309.2 | 406.9 | 換算延べ年間児童数÷12月×収支分岐点比率 |



4. 安全性

≒ 施設の財政状態の安全性を示している

※ PPC顧客平均値(H23年度)

| ① 自己純資産比率 (E-G-H)/(F-G) | 28年度 | | 27年度 | | 26年度 | | ※平均値 | |
|-------------------------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|
| | 金額 | 比率 | 金額 | 比率 | 金額 | 比率 | 金額 | 比率 |
| 純資産の部合計 E | 309,698,119 | 45.6% | 287,537,408 | 34.7% | 318,195,292 | 40.1% | 267,822,276 | 63.4% |
| 資産の部合計 F | 374,935,709 | | 354,250,859 | | 395,636,629 | | 295,787,317 | |
| 国庫補助金等特別積立金 G | 183,478,490 | | 192,442,325 | | 201,406,160 | | 53,328,049 | |
| 基本金 H | 38,983,290 | | 38,983,290 | | 38,983,290 | | 60,868,466 | |

② 支払余力(当期末支払資金残高+積立預金額)と設備投資予定額の比較

| | | | |
|-------------|-------------------|----------------|-------------------|
| ＋当期末支払資金残高 | 22,067,215 | 固定資産減価償却累計額 | 68,039,022 |
| ＋積立預金額 | 88,299,780 | (国庫補助金等特別積立金) | 35,855,340 |
| ▲設備資金借入金残高 | -33,635,000 | | |
| ▲リース債務残高 | 0 | | |
| 支払余力 | 76,731,995 | 設備投資予定額 | 68,039,022 |

資産と負債から施設自身の設備した純資産の割合、比率が高いほど支払余力が高くなる

支払余力>設備投資予定額であれば、将来の設備投資予定額のうち、現時点で必要とされる額を確保できていると考えられる

5. その他

① 園児および職員当たりの月額給食費

| | | | | | |
|---------|-----------|-------|-------|-------|-------|
| 年間給食費 | 9,684,977 | 園児給食費 | 6,712 | 職員給食費 | 7,000 |
| 年間延べ園児数 | 1,443 | | | | |

園児給食費>職員給食費である場合には、指導検査で指摘される可能性がある

別紙 収支計算分析表

(別紙様式3)

平成 28年度収支計算分析表

| 収 入 | | 支 出 | | 差引過△不 足額①-② |
|--------------------------|-------------|----------------------------|-------------|----------------|
| 科 目 | 金額(円)① | 科 目 | 金額(円)② | |
| 1. 委託費収入(改善基礎分を除く。) | 112,219,572 | 19. 人件費支出 | 160,830,650 | |
| (1) 人件費(改善基礎分を除く。) | | (1) 職員給料支出 | 93,038,387 | |
| (2) 事業費 | | (2) 職員賞与支出 | 20,146,850 | |
| (3) 管理費(改善基礎分を除く。) | | (3) 非常勤職員給与支出 | 27,165,333 | |
| 2. 私的契約利用料収入 | 0 | (4) 派遣職員費支出 | 0 | |
| 3. その他の事業収入 | 108,970,602 | (5) 退職給付支出 | 1,117,500 | |
| 4. 経常経費寄付金収入 | 20,000 | (6) 法定福利費支出 | 19,362,580 | |
| 5. 受取利息配当金収入 | 172 | 20. 事業費支出 | 19,007,004 | |
| 6. その他の収入 | 2,420,170 | (1) 給食費支出 | 9,684,977 | |
| 7. 退職給付積立資産取崩収入 | 0 | (2) 保健衛生費支出 | 255,823 | |
| 8. 人件費積立資産取崩収入 | 0 | (3) 保育材料費支出 | 2,012,020 | |
| 9. 修繕積立資産取崩収入 | 0 | (4) 水道光熱費支出 | 3,482,201 | |
| 10. 備品等購入積立資産取崩収入 | 0 | (5) 燃料費支出 | 0 | |
| 11. 保育所施設・設備整備積立資産取崩収入 | 0 | (6) 消耗器具備品支出 | 2,516,852 | |
| | | (7) 保険料支出 | 446,595 | |
| | | (8) 賃借料支出 | 299,894 | |
| | | (9) 車両費支出 | 0 | |
| | | (10) 雑支出 | 308,642 | |
| | | 21. 事務費支出 | 15,577,043 | |
| | | (1) 福利厚生費支出 | 1,185,345 | |
| | | (2) 職員被服費支出 | 0 | |
| | | (3) 旅費交通費支出 | 83,370 | |
| | | (4) 研修研究費支出 | 522,583 | |
| | | (5) 事務消耗品費支出 | 680,469 | |
| | | (6) 印刷製本費支出 | 1,792,537 | |
| | | (7) 水道光熱費支出 | 386,911 | |
| | | (8) 燃料費支出 | 0 | |
| | | (9) 修繕費支出 | 724,251 | |
| | | (10) 通信運搬費支出 | 583,092 | |
| | | (11) 会議費支出 | 249,184 | |
| | | (12) 広報費支出 | 142,560 | |
| | | (13) 業務委託費支出 | 3,050,687 | |
| | | (14) 手数料支出 | 127,774 | |
| | | (15) 保険料支出 | 661,740 | |
| | | (16) 賃借料支出 | 3,155,058 | |
| | | (17) 租税公課支出 | 2,000 | |
| | | (18) 保守料支出 | 1,340,369 | |
| | | (19) 雑支出 | 889,113 | |
| | | 22. その他の支出 | 3,694,180 | |
| | | 23. 固定資産取得支出 | 580,392 | |
| | | 24. 退職給付引当資産支出 | 1,680,840 | |
| | | 25. 人件費積立資産支出 | 0 | |
| | | 26. 修繕積立資産支出 | 0 | |
| | | 27. 備品等購入積立資産支出 | 0 | |
| | | 28. 保育所施設・設備整備積立資産支出 | 30,000,000 | |
| | | 29. 拠点区分間繰入金支出 | 0 | |
| 12. 当期資金収支差額合計(欠損金) | | 30. 当期資金収支差額合計 | 3,691,077 | |
| 1から12までの小計 | 223,630,516 | 19から30までの小計 | 235,061,186 | -11,430,670 |
| 13. 委託費収入のうち改善基礎分 | 14,979,088 | 31. 固定資産取得支出のうち施設の整備等に係る支出 | 0 | |
| 14. 国庫補助事業に係る施設整備補助金収入 | 0 | 32. 土地・建物賃借料支出 | 925,600 | |
| 15. 国庫補助事業に係る設備整備補助金収入 | 0 | 33. 31及び32の経費に係る借入金利息支出 | 138,530 | |
| 16. 31及び32の経費に係る積立資産取崩収入 | 0 | 34. 31及び32の経費に係る借入金償還支出 | 2,604,000 | |
| 17. 借入金利息補助金収入 | 119,712 | 35. 31及び32の経費に係る積立資産支出 | 0 | |
| 18. 設備資金借入金元金償還補助金収入 | 0 | 36. 租税公課 | 0 | |
| 13から18までの小計 | 15,098,800 | 31から36までの小計 | 3,668,130 | 11,430,670 |
| 合 計 | 238,729,316 | 合 計 | 238,729,316 | 0 |

*22から36の経費等に係る借入金収入がある場合には、その受入額についても収入欄に計上すること。

(別紙様式3)

平成 28年度収支計算分析表

| 収入 | | 支出 | | 差引過△不 |
|--------------------------|-------------|----------------------------|-------------|------------|
| 科目 | 金額(円)① | 科目 | 金額(円)② | 足額①-② |
| 1. 委託費収入(改善基礎分を除く。) | 107,252,894 | 19. 人件費支出 | 133,609,478 | |
| (1) 人件費(改善基礎分を除く。) | | (1) 職員給料支出 | 66,825,661 | |
| (2) 事業費 | | (2) 職員賞与支出 | 20,665,429 | |
| (3) 管理費(改善基礎分を除く。) | | (3) 非常勤職員給与支出 | 26,899,042 | |
| 2. 私的契約利用料収入 | 0 | (4) 派遣職員費支出 | 2,984,040 | |
| 3. その他の事業収入 | 88,141,380 | (5) 退職給付支出 | 1,077,540 | |
| 4. 経常経費寄付金収入 | 0 | (6) 法定福利費支出 | 15,157,766 | |
| 5. 受取利息配当金収入 | 546 | 20. 事業費支出 | 17,463,626 | |
| 6. その他の収入 | 2,501,654 | (1) 給食費支出 | 6,584,568 | |
| 7. 退職給付積立資産取崩収入 | 183,540 | (2) 保健衛生費支出 | 417,845 | |
| 8. 人件費積立資産取崩収入 | 0 | (3) 保育材料費支出 | 3,205,386 | |
| 9. 修繕積立資産取崩収入 | 0 | (4) 水道光熱費支出 | 2,630,223 | |
| 10. 備品等購入積立資産取崩収入 | 0 | (5) 燃料費支出 | 0 | |
| 11. 保育所施設・設備整備積立資産取崩収入 | 0 | (6) 消耗器具備品支出 | 3,532,405 | |
| | | (7) 保険料支出 | 335,255 | |
| | | (8) 賃借料支出 | 757,944 | |
| | | (9) 車両費支出 | 0 | |
| | | (10) 雑支出 | 0 | |
| | | 21. 事務費支出 | 13,782,091 | |
| | | (1) 福利厚生費支出 | 1,005,962 | |
| | | (2) 職員被服費支出 | 1,414 | |
| | | (3) 旅費交通費支出 | 75,334 | |
| | | (4) 研修研究費支出 | 281,732 | |
| | | (5) 事務消耗品費支出 | 1,002,496 | |
| | | (6) 印刷製本費支出 | 1,541,963 | |
| | | (7) 水道光熱費支出 | 292,247 | |
| | | (8) 燃料費支出 | 0 | |
| | | (9) 修繕費支出 | 329,724 | |
| | | (10) 通信運搬費支出 | 436,651 | |
| | | (11) 会議費支出 | 0 | |
| | | (12) 広報費支出 | 0 | |
| | | (13) 業務委託費支出 | 5,710,443 | |
| | | (14) 手数料支出 | 148,144 | |
| | | (15) 保険料支出 | 140,890 | |
| | | (16) 賃借料支出 | 2,045,304 | |
| | | (17) 租税公課支出 | 5,415 | |
| | | (18) 保守料支出 | 164,808 | |
| | | (19) 雑支出 | 599,564 | |
| | | 22. その他の支出 | 5,193,410 | |
| | | 23. 固定資産取得支出 | 0 | |
| | | 24. 退職給付引当資産支出 | 1,339,060 | |
| | | 25. 人件費積立資産支出 | 0 | |
| | | 26. 修繕積立資産支出 | 0 | |
| | | 27. 備品等購入積立資産支出 | 0 | |
| | | 28. 保育所施設・設備整備積立資産支出 | 30,000,000 | |
| | | 29. 拠点区分間繰入金支出 | 0 | |
| 12. 当期資金収支差額合計(欠損金) | | 30. 当期資金収支差額合計 | 3,468,250 | |
| 1から12までの小計 | 198,080,014 | 19から30までの小計 | 204,855,915 | -6,775,901 |
| 13. 委託費収入のうち改善基礎分 | 11,234,316 | 31. 固定資産取得支出のうち施設の整備等に係る支出 | 58,811,415 | |
| 14. 国庫補助事業に係る施設整備補助金収入 | 15,685,000 | 32. 土地・建物賃借料支出 | 1,332,000 | |
| 15. 国庫補助事業に係る設備整備補助金収入 | 0 | 33. 31及び32の経費に係る借入金利息支出 | 409,500 | |
| 16. 31及び32の経費に係る積立資産取崩収入 | 40,000,000 | 34. 31及び32の経費に係る借入金償還支出 | 0 | |
| 17. 借入金利息補助金収入 | 409,500 | 35. 31及び32の経費に係る積立資産支出 | 0 | |
| 18. 設備資金借入金元金償還補助金収入 | 0 | 36. 租税公課 | 0 | |
| 13から18までの小計 | 67,328,816 | 31から36までの小計 | 60,552,915 | 6,775,901 |
| 合計 | 265,408,830 | 合計 | 265,408,830 | 0 |

*22から36の経費等に係る借入金収入がある場合には、その受入額についても収入欄に計上すること。